

2023年11月期 決算短信 (REIT)

2024年1月19日

不動産投資信託証券発行者名	ユナイテッド・アーバン投資法人	上場取引所	東
コード番号	8960	URL	https://www.united-reit.co.jp/
代表者	(役職名) 執行役員	(氏名) 朝谷 健民	
資産運用会社名	丸紅リートアドバイザーズ株式会社	(氏名) 馬躰 純一	
代表者	(役職名) 代表取締役 社長執行役員	(氏名) 馬躰 純一	
問合せ先責任者	(役職名) チーフ・フィナンシャル・オフィサー	(氏名) 上菌 秀一	
	TEL 03-5402-3680		

有価証券報告書提出予定日 2024年2月28日 分配金支払開始予定日 2024年2月15日

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期の運用、資産の状況 (2023年6月1日～2023年11月30日)

(1) 運用状況

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期	25,356	1.2	11,408	4.6	10,370	4.4	10,369	4.4
2023年5月期	25,052	2.5	10,903	2.6	9,930	2.7	9,929	2.7

	1口当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 経常利益率
	円	%	%	%
2023年11月期	3,346	2.9	1.4	40.9
2023年5月期	3,204	2.8	1.4	39.6

(2) 分配状況

	1口当たり分配金 (利益超過分配金 は含まない)	分配金総額 (利益超過分配金は 含まない)	1口当たり 利益超過分配金	利益超過 分配金総額	配当性向	純資産配当率
	円	百万円	円	百万円	%	%
2023年11月期	3,371	10,445	—	—	100.7	2.9
2023年5月期	3,229	10,005	—	—	100.7	2.8

(注1) 配当性向については小数点第1位未満を切捨てにより表示しています。

(注2) 2023年5月期及び2023年11月期の分配金の支払原資は、当期純利益に一時差異等調整積立金取崩額 (77百万円) をそれぞれ加算した後の金額であることから各期の当期純利益の金額とは異なります。

(3) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1口当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2023年11月期	727,227	360,800	49.6	116,440
2023年5月期	723,202	360,480	49.8	116,336

(4) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年11月期	14,513	△5,398	△6,586	63,266
2023年5月期	13,227	△8,656	△2,739	60,737

2. 2024年5月期の運用状況の予想 (2023年12月1日～2024年5月31日) 及び2024年11月期の運用状況の予想 (2024年6月1日～2024年11月30日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1口当たり分配金 (利益超過分配金 は含まない)	1口当たり 利益超過分配金
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	円
2024年5月期	25,702	1.4	11,897	4.3	10,768	3.8	10,768	3.8	3,500	—
2024年11月期	26,372	2.6	11,913	0.1	10,768	0.0	10,768	0.0	3,500	—

(参考) 1口当たりの予想当期純利益 (通期) 2024年5月期：3,474円、2024年11月期：3,474円

(注) 2024年5月期及び2024年11月期の分配金の支払原資は、当期純利益に一時差異等調整積立金取崩額 (77百万円) をそれぞれ加算した後の金額であることから各期の当期純利益の金額とは異なります。

※ その他

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済投資口の総口数

- ① 期末発行済投資口の総口数
(自己投資口を含む)

2023年11月期	3,098,591口	2023年5月期	3,098,591口
-----------	------------	----------	------------

- ② 期末自己投資口数

2023年11月期	0口	2023年5月期	0口
-----------	----	----------	----

(注) 1口当たり当期純利益の算定の基礎となる投資口数については、25ページ「1口当たり情報に関する注記」をご覧ください。

(3) 金額及び比率の端数処理

本書では、特に記載のない限り、単位未満の端数について、金額は切捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入により記載しています。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 特記事項

本資料に記載されている運用状況の予想等の将来に関する記述は、一定の前提条件の下に算出した現時点のものであり、今後の不動産等の取得又は譲渡、不動産市場等の推移、本投資法人を取り巻くその他の状況の変化等により、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益、1口当たり分配金及び1口当たり利益超過分配金は変動する可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。前提条件の詳細については、後記6ページ記載の「2024年5月期（第41期：2023年12月1日～2024年5月31日）及び2024年11月期（第42期：2024年6月1日～2024年11月30日）の運用状況予想の前提条件」をご参照ください。

目次

1. 運用状況	2
運用状況	2
2. 財務諸表	8
(1) 貸借対照表	8
(2) 損益計算書	10
(3) 投資主資本等変動計算書	11
(4) 金銭の分配に係る計算書	13
(5) キャッシュ・フロー計算書	14
(6) 継続企業の前提に関する注記	15
(7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記	15
(8) 財務諸表に関する注記事項	17
(9) 発行済投資口の総口数の増減	26
3. 参考情報	27
(1) 運用資産等の価格に関する情報	27
(2) 資本的支出の状況	38

1. 運用状況

運用状況

① 当期の概況

a. 投資環境と運用実績

(i) 投資環境

当期の日本経済は、全体的に回復基調で推移しました。しかし、ウクライナに加え、中東での地政学リスクの顕在化による世界的なエネルギー及び原材料価格高騰の長期化懸念、欧米でのインフレ率の高止まりによる景気減速の可能性等、不安定な状況には引き続き注視が必要です。

不動産売買市場では、インフレ抑制に向けた欧米の引き締めの金融政策、日本銀行による長短金利操作(YCC)の運用柔軟化等の投資家マインドへの影響はあるものの、国内投資家を中心に投資意欲は依然旺盛で厳しい取得環境が続いています。

不動産賃貸市場については、当期も全体としては概ね堅調に推移しました。

商業施設では、物価上昇の影響はあるものの、円安を追い風とする訪日外国人数及び消費額の増加により、売上は上昇傾向にあります。

ホテルについては、国内需要の拡大や訪日外国人数の増加により、客室稼働率、客室単価いずれも回復傾向が続いており、一部のホテルでは客室単価がコロナ禍前の2019年の水準を上回る状況にあります。

オフィスビルでは、海外で課題となっている従業員のオフィス離れによる需要減は日本ではみられず、特に東京では大量供給による空室率の大幅上昇が懸念されたものの、面積拡張や立地改善を目的とした移転需要は底堅く推移しています。賃料については、東京ビジネス地区等でやや弱含みの傾向が続いています。

住宅では、いずれの地域においても引き続き需要は底堅く、稼働率及び賃料は安定的に推移しています。

物流施設については、首都圏をはじめ全国の主要都市周辺部で供給が続いており、稼働率は弱含みの傾向にあるものの、賃料は横ばいで推移しています。

(ii) 物件の取得及び譲渡

本投資法人は、当期において下表記載の2物件を取得しました。

物件番号	物件名称	種類 (注1)	所在地	取得価格 (百万円)(注2)	取得日
A45	東松戸ショッピングセンター	店舗	千葉県松戸市	2,200	2023年6月1日
C22	博多祇園開発用地	—	福岡県福岡市	2,300	2023年7月31日
合 計				4,500	

その一方で、本投資法人は、当期において下表記載の物件を譲渡しました。

物件番号	物件名称	種類 (注1)	所在地	譲渡価格 (百万円)(注2)	譲渡日
D16	グランルージュ栄	共同住宅	愛知県名古屋市	1,450	2023年6月1日

(注1) 登記簿上に表示される用途の種類のうち主要なものを記載しています。以下、同じです。

(注2) 取得価格及び譲渡価格は、取得又は譲渡に係る売買契約等にそれぞれ記載された売買価格に基づき記載しています。なお、取得価格については単位未満を四捨五入しています。また、金額には取得又は譲渡に要した諸費用及び消費税等を含みません。以下、同じです。

(iii) ポートフォリオの概要

前記(ii)記載の物件取得及び譲渡の結果、当期末時点において、本投資法人が保有する物件は、商業施設37件、オフィスビル35件、商業施設とオフィスビルの複合施設1件、ホテル21件、オフィスビルとホテルの複合施設2件、住居25件及びその他20件の合計141件(取得価格の総額691,831百万円)であり、また、総賃貸可能面積は1,633,673.46㎡(494,186.22坪)、テナント総数は3,019となりました。

本投資法人は、稼働率の維持に努め、当期中における各月末時点のポートフォリオ全体の稼働率は、98.4%から99.0%の間で推移し、当期末時点では99.0%となっています。

(iv) サステナビリティに関する取組

本投資法人及び本資産運用会社は、持続可能な開発目標 (SDGs) を支持しており、環境、社会及び経済における課題解決及び新しい価値の創造への取組 (以下「サステナビリティ推進活動」といいます。) を通じて、持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現することを目指しています。

気候変動に関する取組では、本投資法人が保有する不動産の環境認証を2024年までに延床面積ベース (底地物件を除きます。) で80%取得すること (ご参考: 2023年11月末時点77.4%) を中期目標に掲げています。また、温室効果ガス (GHG) 排出量の削減目標に関して、これまでオフィスポートフォリオのみを対象範囲としていましたが、2023年6月に対象範囲をポートフォリオ全体に拡大し、併せて (i) 2030年までにポートフォリオのスコープ1及びスコープ2のGHG総排出量を42%削減 (2021年対比) すること、及び (ii) 2050年までにバリューチェーン (スコープ3) を含むGHG総排出量をネットゼロにすること、という新たな削減目標を設定しました。その他、サステナビリティ推進活動の結果、本投資法人はESG配慮を測る国際的なベンチマーク評価であるGRESBリアルエステイト評価の2023年調査において、5段階で格付されるGRESBレーティングで最上位から2つ目の「4 Stars」を、またGRESB開示評価においては最上位の「Aレベル」をそれぞれ取得しています。

本資産運用会社は2022年1月に「TCFD (気候関連財務情報開示タスクフォース) 提言」への賛同を表明しています。本資産運用会社各部の代表メンバーによる社内横断チームにおいて、本投資法人のポートフォリオにおけるTCFD提言に沿った気候関連リスク・機会に関するシナリオ分析を行い、分析結果をサステナビリティサイト (<https://uur-sustainability.com/sustainability/>) 上で開示しています。

b. 資金調達の概要

本投資法人は、当期において、特定資産の取得及び有利子負債の返済のため、一定の資金調達を行いました。前期末及び当期末時点における有利子負債の状況は以下のとおりです。

(単位: 百万円)

	前期末時点	当期末時点	増減
短期借入金	1,000	4,000	+3,000
長期借入金 (うち、1年内返済予定分)	284,903 (31,600)	288,353 (28,050)	+3,450 (△3,550)
借入金合計	285,903	292,353	+6,450
投資法人債 (うち、1年内償還予定分)	34,500 (10,000)	31,500 (-)	△3,000 (△10,000)
有利子負債合計	320,403	323,853	+3,450

また、2023年12月31日時点における本投資法人の格付の状況は以下のとおりです。

信用格付業者	格付内容	
株式会社日本格付研究所	長期発行体格付: AA	見通し: 安定的

c. 当期の業績及び分配の概要

当期の業績は、営業収益25,356百万円 (前期比1.2%増)、不動産賃貸事業利益13,535百万円 (前期比2.0%増)、営業利益11,408百万円 (前期比4.6%増)、経常利益10,370百万円 (前期比4.4%増)、当期純利益10,369百万円 (前期比4.4%増) となりました。

分配金については、投資法人の計算に関する規則及び一般社団法人投資信託協会の定める不動産投資信託及び不動産投資法人に関する規則に則った一時差異等調整積立金取崩額77百万円を当期末処分利益10,369百万円に加算した金額を分配することとしました。この結果、投資口1口当たりの分配金は3,371円、分配金の総額は10,445百万円となりました。

② 次期の見通し

a. 運用全般に関する見通し

我が国を取り巻く政治や経済は不透明な状況が続くものの、国内景気は緩やかな回復基調が続くと見込まれ、当期に続き次期の不動産売買及び賃貸市場も全体として共に堅調に推移することが予想されます。

本投資法人のポートフォリオは特定のアセットタイプに偏ることなく構成されており、分散投資による収益力の安定化が図られています。不透明な状況が続く中でも不動産売買及び賃貸市場の動向を見極めつつ、社会変化に適応し得る不動産の安定運用に取り組みながら、ポートフォリオ全体の安定性を確かなものとしていくことが肝要であると考えています。

このような環境認識の下、本投資法人は今後の不動産売買市場の動向を注視しながら、多種・多様な不動産への

投資機会を積極的に捉え、様々な取得手法を駆使した厳選投資と併せて、ポートフォリオの質的改善に資する資産入替えを継続していきます。既存物件においては、稼働率の維持・向上、賃料増加や収益寄与と安定を目的とする各種条件改定、事業費用の削減等を通じて、安定運用に引き続き注力していきます。その上で、適宜、内部留保を有効に活用しながら分配金の安定を図ります。

財務運営においては、LTVコントロール、金融費用の抑制、有利子負債の返済期限の分散、流動性の確保等、強固で安定的な財務体質の構築に努めていきます。

また、本投資法人の持続的成長、すなわち投資主価値の最大化、ステークホルダーとの信頼関係、環境・社会との共生を追求していく観点から、財務的視点のみならず、ESG（環境・社会・ガバナンス）、SDGs（持続可能な開発目標）といった非財務分野の課題への対応にも一層注力していきます。

b. 運用状況の見通し

(i) 決算後に生じた重要な事実及びその他重要な事象

該当事項はありません。

なお、参考情報は、以下のとおりです。

A. 返済資金の借入れ

本投資法人は、2023年12月20日に返済期限が到来した借入金（総額2,000百万円）の返済を目的として、2023年12月20日付で以下のとおり資金の借入れを行いました。

名称	借入先	借入金額 (百万円)	利率	借入実行日	返済期限	摘要
タームローン91C	株式会社足利銀行	1,000	0.75446%	2023年 12月20日	2028年 6月20日	無担保 無保証
タームローン92C	株式会社千葉銀行	1,000	基準金利（全銀 協3ヶ月日本円 TIBOR）+0.20%			
合 計		2,000				

B. コミットメントラインの設定

本投資法人は、2023年12月27日付で以下のとおりコミットメントラインの設定を行いました。

（コミットメントラインの概要）

参加金融機関	株式会社三井住友銀行、株式会社三菱UFJ銀行、みずほ信託銀行株式会社、株式会社りそな銀行
借入極度額	12,000百万円
契約締結日	2023年12月27日
契約期間	2023年12月28日～2024年12月27日
摘要	無担保・無保証

(ii) 運用状況の見通し

2024年5月期（第41期：2023年12月1日～2024年5月31日）及び2024年11月期（第42期：2024年6月1日～2024年11月30日）の運用状況については、以下のとおり見込んでいます。

2024年5月期及び2024年11月期の運用状況の見通しの前提条件については、後記「2024年5月期（第41期：2023年12月1日～2024年5月31日）及び2024年11月期（第42期：2024年6月1日～2024年11月30日）の運用状況予想の前提条件」をご参照ください。

2024年5月期

営業収益	25,702百万円	1口当たり分配金（注1）	3,500円
営業利益	11,897百万円	1口当たり利益超過分配金	－円
経常利益	10,768百万円		
当期純利益（注1）	10,768百万円		

2024年11月期

営業収益	26,372百万円	1口当たり分配金（注1）	3,500円
営業利益	11,913百万円	1口当たり利益超過分配金	－円
経常利益	10,768百万円		
当期純利益（注1）	10,768百万円		

- (注1) 2024年5月期及び2024年11月期の分配金の支払原資は、当期純利益に一時差異等調整積立金取崩額(77百万円)をそれぞれ加算した後の金額であることから各期の当期純利益の金額とは異なります。なお、1口当たり分配金は、本書の日付現在における発行済投資口の総口数3,098,591口を前提としており、以後2024年11月期末まで変動がないことを前提としています。
- (注2) 上記予想は一定の前提条件の下に算出した現時点のものであり、今後の不動産等の取得又は譲渡、不動産市場等の推移、本投資法人を取り巻くその他の状況の変化等により、実際の営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益、1口当たり分配金及び1口当たり利益超過分配金は変動する可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。

2024年 5月期（第41期：2023年12月1日～2024年 5月31日）及び

2024年11月期（第42期：2024年 6月1日～2024年11月30日）の運用状況予想の前提条件

項目	前提条件																												
計算期間	<ul style="list-style-type: none"> 2024年 5月期（第41期：2023年12月1日～2024年 5月31日）（183日） 2024年11月期（第42期：2024年 6月1日～2024年11月30日）（183日） 																												
運用資産	<ul style="list-style-type: none"> 本書の日付現在で本投資法人が保有している141物件から、2024年1月31日付で譲渡を予定している府中ビル（土地部分）を除いた140物件を前提としています。 2024年11月期末までに上記以外の運用資産の異動（新規物件の取得、既保有物件の譲渡等）がないことを前提としていますが、実際には運用資産の異動により変動する可能性があります。 																												
発行済投資口の総口数	<ul style="list-style-type: none"> 本書の日付現在発行済みの3,098,591口を前提としています。 2024年11月期末までに投資口の追加発行がないことを前提としています。 																												
営業収益	<ul style="list-style-type: none"> 主たる営業収益である賃貸事業収益については、本書の日付現在有効な賃貸借契約を基に、近隣競合物件の存在、市場動向及び各テナントとの賃貸借条件交渉状況等を勘案した上で、今後の賃料及び想定稼働率について一定の入退去影響等を考慮して算出しています。 上記前提に基づく、賃貸事業収入の主要項目毎の予想見込み額は以下のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>主要項目</th> <th>2024年5月期</th> <th>2024年11月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃料収入（共益費含む）</td> <td>22,996百万円</td> <td>21,997百万円</td> </tr> <tr> <td>駐車場収入</td> <td>781百万円</td> <td>781百万円</td> </tr> <tr> <td>附加使用料（テナント負担水道光熱費収入）</td> <td>1,543百万円</td> <td>1,809百万円</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> なお、賃貸事業収入については、テナントによる賃料の滞納又は不払い等がないことを前提としています。 2024年5月期に府中ビル（土地部分）の譲渡を予定していますが、不動産等売却損益の発生は見込んでいません。 	主要項目	2024年5月期	2024年11月期	賃料収入（共益費含む）	22,996百万円	21,997百万円	駐車場収入	781百万円	781百万円	附加使用料（テナント負担水道光熱費収入）	1,543百万円	1,809百万円																
主要項目	2024年5月期	2024年11月期																											
賃料収入（共益費含む）	22,996百万円	21,997百万円																											
駐車場収入	781百万円	781百万円																											
附加使用料（テナント負担水道光熱費収入）	1,543百万円	1,809百万円																											
営業費用	<ul style="list-style-type: none"> 主たる営業費用である賃貸事業費用（ただし、減価償却費を除きます。）については、過去の実績値をベースに、費用の変動要素を考慮して算出しています。 賃貸事業費用の主要項目毎の予想見込み額は以下のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>主要項目</th> <th>2024年5月期</th> <th>2024年11月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公租公課（固定資産税等）（注1）</td> <td>2,220百万円</td> <td>2,362百万円</td> </tr> <tr> <td>外注委託費</td> <td>1,821百万円</td> <td>1,866百万円</td> </tr> <tr> <td>水道光熱費</td> <td>1,665百万円</td> <td>2,089百万円</td> </tr> <tr> <td>修繕費（注2）</td> <td>1,088百万円</td> <td>1,189百万円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費（注3）</td> <td>4,037百万円</td> <td>4,032百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">（注1）物件取得時における取得年度に係る固定資産税及び都市計画税については、一般的に前所有者と期間按分による計算を行い、取得時に精算しますが、当該精算金相当額は取得原価に算入されるため費用計上されません。したがって、下表記載の2023年取得4物件の固定資産税及び都市計画税については、2024年11月期から費用計上されることとなり、総額21百万円を見込んでいます。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>取得日</th> <th>物件名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2023年3月20日</td> <td>大阪ペイタワー</td> </tr> <tr> <td>2023年5月31日</td> <td>グランダ宮の森（建物部分）</td> </tr> <tr> <td>2023年6月1日</td> <td>東松戸ショッピングセンター</td> </tr> <tr> <td>2023年7月31日</td> <td>博多祇園開発用地</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">（注2）運用資産の修繕費については、予想し難い要因に基づく建物の毀損等により緊急に発生する可能性があること、一般的に年度による金額の差異が大きくなること及び定期的に発生する金額ではないこと等から、各計算期間の修繕費が予想金額と大きく異なる結果となる可能性があることにご留意ください。</p> <p style="margin-left: 40px;">（注3）減価償却費については、付随費用、現時点で確定していないものも含め、将来発生が見込まれる資本的支出を含めて定額法により算出しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 資産運用報酬等のその他の営業費用については、過去の実績値をベースに、費用の変動要素を考慮して算出しています。 	主要項目	2024年5月期	2024年11月期	公租公課（固定資産税等）（注1）	2,220百万円	2,362百万円	外注委託費	1,821百万円	1,866百万円	水道光熱費	1,665百万円	2,089百万円	修繕費（注2）	1,088百万円	1,189百万円	減価償却費（注3）	4,037百万円	4,032百万円	取得日	物件名称	2023年3月20日	大阪ペイタワー	2023年5月31日	グランダ宮の森（建物部分）	2023年6月1日	東松戸ショッピングセンター	2023年7月31日	博多祇園開発用地
主要項目	2024年5月期	2024年11月期																											
公租公課（固定資産税等）（注1）	2,220百万円	2,362百万円																											
外注委託費	1,821百万円	1,866百万円																											
水道光熱費	1,665百万円	2,089百万円																											
修繕費（注2）	1,088百万円	1,189百万円																											
減価償却費（注3）	4,037百万円	4,032百万円																											
取得日	物件名称																												
2023年3月20日	大阪ペイタワー																												
2023年5月31日	グランダ宮の森（建物部分）																												
2023年6月1日	東松戸ショッピングセンター																												
2023年7月31日	博多祇園開発用地																												

<p>営業外費用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・営業外費用の主要項目毎の予想見込み額は以下のとおりです。 <table border="1" data-bbox="363 208 1230 282"> <thead> <tr> <th>主要項目</th> <th>2024年5月期</th> <th>2024年11月期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有利子負債に係る支払利息等(注)</td> <td>1,099百万円</td> <td>1,161百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 融資関連手数料、投資法人債利息等を含みます。</p>	主要項目	2024年5月期	2024年11月期	有利子負債に係る支払利息等(注)	1,099百万円	1,161百万円																																		
主要項目	2024年5月期	2024年11月期																																							
有利子負債に係る支払利息等(注)	1,099百万円	1,161百万円																																							
<p>有利子負債</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本書の日付現在における有利子負債残高は323,853百万円、内訳は借入金292,353百万円、投資法人債31,500百万円です。 ・2024年5月期に返済期限が到来する有利子負債及び対応方針については、以下のとおりです。 <table border="1" data-bbox="355 432 1390 770"> <thead> <tr> <th>返済期日</th> <th>有利子負債の概要</th> <th>対応方針(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">2024年3月21日</td> <td>借入金: 1,000百万円</td> <td rowspan="6">借換え又は投資法人債の発行により全額を返済予定。</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,200百万円</td> </tr> <tr> <td>2024年3月29日</td> <td>借入金: 1,300百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>借入金: 2,500百万円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の有利子負債のリファイナンス等により、2024年5月期末における有利子負債残高は323,853百万円であることを前提としています。 ・2024年11月期に返済期限が到来する有利子負債及び対応方針については、以下のとおりです。 <table border="1" data-bbox="355 887 1390 1375"> <thead> <tr> <th>返済期日</th> <th>有利子負債の概要</th> <th>対応方針(予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">2024年6月20日</td> <td>借入金: 1,700百万円</td> <td rowspan="6">借換え又は投資法人債の発行により全額を返済予定。</td> </tr> <tr> <td>借入金: 2,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 2,700百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,650百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2024年9月20日</td> <td>借入金: 1,000百万円</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,000百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>借入金: 1,500百万円</td> </tr> <tr> <td>2024年11月20日</td> <td>借入金: 1,000百万円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>借入金: 3,000百万円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・上記の有利子負債のリファイナンス等により、2024年11月期末における有利子負債残高は323,853百万円であることを前提としています。 	返済期日	有利子負債の概要	対応方針(予定)	2024年3月21日	借入金: 1,000百万円	借換え又は投資法人債の発行により全額を返済予定。	借入金: 1,000百万円	借入金: 1,000百万円	借入金: 1,500百万円	借入金: 1,000百万円	借入金: 1,200百万円	2024年3月29日	借入金: 1,300百万円			借入金: 2,500百万円		返済期日	有利子負債の概要	対応方針(予定)	2024年6月20日	借入金: 1,700百万円	借換え又は投資法人債の発行により全額を返済予定。	借入金: 2,000百万円	借入金: 2,700百万円	借入金: 1,500百万円	借入金: 1,650百万円	借入金: 1,000百万円	2024年9月20日	借入金: 1,000百万円		借入金: 1,000百万円	借入金: 1,500百万円	借入金: 1,500百万円	2024年11月20日	借入金: 1,000百万円			借入金: 3,000百万円	
返済期日	有利子負債の概要	対応方針(予定)																																							
2024年3月21日	借入金: 1,000百万円	借換え又は投資法人債の発行により全額を返済予定。																																							
	借入金: 1,000百万円																																								
	借入金: 1,000百万円																																								
	借入金: 1,500百万円																																								
	借入金: 1,000百万円																																								
	借入金: 1,200百万円																																								
2024年3月29日	借入金: 1,300百万円																																								
	借入金: 2,500百万円																																								
返済期日	有利子負債の概要	対応方針(予定)																																							
2024年6月20日	借入金: 1,700百万円	借換え又は投資法人債の発行により全額を返済予定。																																							
	借入金: 2,000百万円																																								
	借入金: 2,700百万円																																								
	借入金: 1,500百万円																																								
	借入金: 1,650百万円																																								
	借入金: 1,000百万円																																								
2024年9月20日	借入金: 1,000百万円																																								
	借入金: 1,000百万円																																								
	借入金: 1,500百万円																																								
	借入金: 1,500百万円																																								
2024年11月20日	借入金: 1,000百万円																																								
	借入金: 3,000百万円																																								
<p>1口当たり分配金</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分配金(1口当たり分配金)は、本投資法人の規約に定める金銭の分配の方針を前提としています。 ・1口当たり分配金の算出に用いる期末発行済投資口の総口数は、上記「発行済投資口の総口数」欄に記載の前提条件に基づいています。 ・2024年5月期の分配金については、当期末処分利益10,768百万円に一時差異等調整積立金取崩額77百万円を加算した金額である10,845百万円を利益分配金として分配することを前提としています。 ・2024年11月期の分配金については、当期末処分利益10,768百万円に一時差異等調整積立金取崩額77百万円を加算した金額である10,845百万円を利益分配金として分配することを前提としています。 ・運用資産の異動、テナントの異動等に伴う賃貸収入の変動又は予期せぬ修繕の発生等を含む種々の要因により、1口当たり分配金は変動する可能性があります。 																																								
<p>1口当たり利益超過分配金</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利益超過の分配(1口当たり利益超過分配金)については、現時点では行う予定はありません。 																																								
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法令、税制、会計基準、上場規則、投信協会規則等において、上記の予想数値に影響を与える改正が行われないことを前提としています。 ・一般的な経済動向及び不動産市況等に不測の重大な変化が生じないことを前提としています。 																																								

2. 財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,265,446	36,006,995
信託現金及び信託預金	26,472,549	27,259,953
営業未収入金	527,957	541,954
前払費用	853,729	248,210
その他	42,483	39,667
貸倒引当金	△6,262	△898
流動資産合計	62,155,904	64,095,884
固定資産		
有形固定資産		
建物	※1 26,961,138	※1 26,991,401
減価償却累計額	△9,063,088	△9,386,579
建物(純額)	17,898,050	17,604,821
構築物	※1 217,620	※1 217,620
減価償却累計額	△136,229	△138,464
構築物(純額)	81,390	79,155
機械及び装置	388,427	389,223
減価償却累計額	△275,010	△280,501
機械及び装置(純額)	113,417	108,722
工具、器具及び備品	117,960	145,620
減価償却累計額	△73,524	△79,688
工具、器具及び備品(純額)	44,435	65,932
土地	※1 65,754,857	※1 68,170,902
建設仮勘定	3,726	5,561
信託建物	※3 254,261,754	※3 256,800,518
減価償却累計額	△78,986,361	△81,894,183
信託建物(純額)	175,275,393	174,906,335
信託構築物	2,534,680	2,555,331
減価償却累計額	△1,276,138	△1,313,707
信託構築物(純額)	1,258,541	1,241,623
信託機械及び装置	3,074,288	3,101,627
減価償却累計額	△1,966,008	△1,991,699
信託機械及び装置(純額)	1,108,280	1,109,928
信託工具、器具及び備品	1,989,219	2,116,398
減価償却累計額	△1,162,614	△1,240,864
信託工具、器具及び備品(純額)	826,605	875,534
信託土地	386,358,802	387,183,061
信託建設仮勘定	583,190	106,412
有形固定資産合計	649,306,691	651,457,991
無形固定資産		
ソフトウェア	2,824	11,211
借地権	1,149,355	1,149,355
信託借地権	8,171,352	8,171,352
信託その他無形固定資産	104,784	98,173
無形固定資産合計	9,428,316	9,430,092

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
投資その他の資産		
差入敷金及び保証金	10,000	10,000
信託差入敷金及び保証金	38,372	38,372
長期前払費用	2,110,617	2,042,230
長期預け金	41,616	60,877
デリバティブ債権	51,799	7,333
投資その他の資産合計	2,252,405	2,158,814
固定資産合計	660,987,413	663,046,898
繰延資産		
投資法人債発行費	59,126	84,989
繰延資産合計	59,126	84,989
資産合計	723,202,444	727,227,771
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,242,910	3,106,964
短期借入金	1,000,000	4,000,000
1年内償還予定の投資法人債	10,000,000	—
1年内返済予定の長期借入金	31,600,000	28,050,000
未払費用	894,830	948,526
未払分配金	16,806	16,844
未払法人税等	587	588
未払消費税等	296,664	403,674
前受金	426,334	431,269
信託前受金	3,390,699	3,390,833
預り金	1,767	1,732
信託預り金	307,014	357,292
その他	7,781	167
流動負債合計	51,185,397	40,707,893
固定負債		
投資法人債	24,500,000	31,500,000
長期借入金	253,303,000	260,303,000
預り敷金及び保証金	※1 3,468,777	※1 3,494,796
信託預り敷金及び保証金	30,265,074	30,421,745
固定負債合計	311,536,852	325,719,541
負債合計	362,722,249	366,427,435
純資産の部		
投資主資本		
出資総額	319,973,305	319,973,305
剰余金		
出資剰余金	23,548,287	23,548,287
出資剰余金控除額	※4 △2,999,918	※4 △2,999,918
出資剰余金(純額)	20,548,369	20,548,369
任意積立金		
一時差異等調整積立金	※5 6,830,470	※5 6,752,944
配当準備積立金	3,146,465	3,148,382
任意積立金合計	9,976,935	9,901,326
当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	9,929,741	10,369,952
剰余金合計	40,455,046	40,819,648
投資主資本合計	360,428,351	360,792,953
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	51,843	7,383
評価・換算差額等合計	51,843	7,383
純資産合計	※6 360,480,195	※6 360,800,336
負債純資産合計	723,202,444	727,227,771

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前期 自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	当期 自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日
営業収益		
貸貸事業収入	※1 22,818,571	※1 23,132,546
その他貸貸事業収入	※1 2,233,947	※1 1,910,008
不動産等売却益	—	※2 314,229
営業収益合計	25,052,518	25,356,784
営業費用		
貸貸事業費用	※1 11,778,376	※1 11,507,116
資産運用報酬	2,041,826	2,076,179
資産保管手数料	18,972	19,139
一般事務委託手数料	67,948	69,774
役員報酬	10,200	9,200
その他営業費用	231,897	266,880
営業費用合計	14,149,222	13,948,290
営業利益	10,903,295	11,408,494
営業外収益		
受取利息	111	109
未払分配金除斥益	1,323	1,686
保険金収入	3,583	3,422
補助金収入	257	—
受取補償金	—	32,566
受取損害賠償金	—	24,500
その他	995	4,889
営業外収益合計	6,271	67,173
営業外費用		
支払利息	893,886	945,475
投資法人債利息	66,424	67,174
投資法人債発行費償却	6,322	7,736
不動産等除却損	9,022	78,688
その他	3,563	6,034
営業外費用合計	979,220	1,105,109
経常利益	9,930,346	10,370,557
税引前当期純利益	9,930,346	10,370,557
法人税、住民税及び事業税	605	605
法人税等合計	605	605
当期純利益	9,929,741	10,369,952
前期繰越利益	—	—
当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	9,929,741	10,369,952

(3) 投資主資本等変動計算書

前期(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

(単位: 千円)

	投資主資本						
	出資総額	剰余金					
		出資剰余金	出資剰余金 控除額	出資剰余金 (純額)	任意積立金		
					一時差異等 調整積立金	配当準備積立金	任意積立金合計
当期首残高	319,973,305	23,548,287	△2,999,918	20,548,369	6,907,995	3,144,636	10,052,632
当期変動額							
一時差異等調整積立金の取崩				—	△77,525		△77,525
配当準備積立金の積立				—		1,828	1,828
剰余金の分配				—			—
当期純利益				—			—
投資主資本以外の項目の当期変動額(純額)				—			—
当期変動額合計	—	—	—	—	△77,525	1,828	△75,697
当期末残高	※ 319,973,305	23,548,287	△2,999,918	20,548,369	6,830,470	3,146,465	9,976,935

	投資主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	剰余金		投資主資本 合計	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	当期末処分利益又は当期末処理損失(△)	剰余金合計				
当期首残高	9,666,272	40,267,274	360,240,579	98,041	98,041	360,338,621
当期変動額						
一時差異等調整積立金の取崩	77,525	—	—		—	—
配当準備積立金の積立	△1,828	—	—		—	—
剰余金の分配	△9,741,970	△9,741,970	△9,741,970		—	△9,741,970
当期純利益	9,929,741	9,929,741	9,929,741		—	9,929,741
投資主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—	—	△46,198	△46,198	△46,198
当期変動額合計	263,469	187,771	187,771	△46,198	△46,198	141,573
当期末残高	9,929,741	40,455,046	360,428,351	51,843	51,843	360,480,195

当期（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

(単位：千円)

	投資主資本						
	出資総額	剰余金					
		出資剰余金	出資剰余金 控除額	出資剰余金 (純額)	任意積立金		
一時差異等 調整積立金	配当準備積立金				任意積立金合計		
当期首残高	319,973,305	23,548,287	△2,999,918	20,548,369	6,830,470	3,146,465	9,976,935
当期変動額							
一時差異等調整積立金の取崩				—	△77,525		△77,525
配当準備積立金の積立				—		1,917	1,917
剰余金の分配				—			—
当期純利益				—			—
投資主資本以外の項目の当期変動額（純額）				—			—
当期変動額合計	—	—	—	—	△77,525	1,917	△75,608
当期末残高	※ 319,973,305	23,548,287	△2,999,918	20,548,369	6,752,944	3,148,382	9,901,326

	投資主資本			評価・換算差額等		純資産合計
	剰余金		投資主資本 合計	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
	当期末処分利益 又は当期末 処理損失 (△)	剰余金合計				
当期首残高	9,929,741	40,455,046	360,428,351	51,843	51,843	360,480,195
当期変動額						
一時差異等調整積立金の取崩	77,525	—	—		—	—
配当準備積立金の積立	△1,917	—	—		—	—
剰余金の分配	△10,005,350	△10,005,350	△10,005,350		—	△10,005,350
当期純利益	10,369,952	10,369,952	10,369,952		—	10,369,952
投資主資本以外の項目の当期変動額（純額）		—	—	△44,460	△44,460	△44,460
当期変動額合計	440,210	364,602	364,602	△44,460	△44,460	320,141
当期末残高	10,369,952	40,819,648	360,792,953	7,383	7,383	360,800,336

(4) 金銭の分配に係る計算書

	前 期		当 期	
	自	2022年12月 1日	自	2023年 6月 1日
	至	2023年 5月31日	至	2023年11月30日
I. 当期末処分利益		9,929,741,912円		10,369,952,351円
II. 任意積立金取崩額				
一時差異等調整積立金取崩額		※ 77,525,695円		※ 77,525,695円
III. 分配金の額		10,005,350,339円		10,445,350,261円
(投資口1口当たりの分配金の額)		(3,229円)		(3,371円)
IV. 任意積立金				
配当準備積立金繰入額		1,917,268円		2,127,785円
V. 次期繰越利益		-円		-円

分配金の額の算出方法	前 期	当 期
	<p>本投資法人の規約第35条(1)に定める分配方針に基づき、分配金の額は利益の金額を限度とし、かつ、租税特別措置法第67条の15に規定されている「配当可能利益の額」の90%に相当する金額を超えるものとしています。</p> <p>かかる方針により、当期末処分利益9,929,741,912円に一時差異等調整積立金取崩額77,525,695円を加算したうえで、投資口1口当たりの分配金が1円未満となる端数部分1,917,268円を配当準備積立金として留保した後の残額である10,005,350,339円を利益分配金として分配することとしました。</p> <p>なお、本投資法人規約第35条(2)に定める利益を超えた金銭の分配は行いません。</p>	<p>本投資法人の規約第35条(1)に定める分配方針に基づき、分配金の額は利益の金額を限度とし、かつ、租税特別措置法第67条の15に規定されている「配当可能利益の額」の90%に相当する金額を超えるものとしています。</p> <p>かかる方針により、当期末処分利益10,369,952,351円に一時差異等調整積立金取崩額77,525,695円を加算したうえで、投資口1口当たりの分配金が1円未満となる端数部分2,127,785円を配当準備積立金として留保した後の残額である10,445,350,261円を利益分配金として分配することとしました。</p> <p>なお、本投資法人規約第35条(2)に定める利益を超えた金銭の分配は行いません。</p>

(5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前期		当期	
	自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日		自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日	
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前当期純利益	9,930,346		10,370,557	
減価償却費	4,067,539		4,069,018	
不動産等売却益	—		△314,229	
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,364		△5,364	
受取利息及び有価証券利息	△111		△109	
支払利息及び投資法人債利息	960,311		1,012,650	
投資法人債発行費償却	6,322		7,736	
不動産等除却損	9,022		78,688	
営業未収入金の増減額 (△は増加)	65,635		△13,996	
前払費用の増減額 (△は増加)	△633,834		617,499	
長期前払費用の増減額 (△は増加)	34,214		38,552	
営業未払金の増減額 (△は減少)	286,494		△450,344	
未払費用の増減額 (△は減少)	27,782		26,226	
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△89,663		66,407	
前受金の増減額 (△は減少)	18,816		4,935	
信託前受金の増減額 (△は減少)	111,435		133	
預り金の増減額 (△は減少)	161		△35	
信託預り金の増減額 (△は減少)	△6,195		50,277	
預り敷金及び保証金償却額	△27,005		△3,070	
信託預り敷金及び保証金償却額	△383,202		△47,152	
その他	△7,717		△25,305	
小計	14,364,988		15,483,074	
利息の受取額	111		109	
利息の支払額	△1,136,727		△968,596	
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△605		△604	
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,227,768		14,513,982	
投資活動によるキャッシュ・フロー				
信託有形固定資産の売却による収入	—		1,429,321	
有形固定資産の取得による支出	△1,154,583		△2,639,110	
信託有形固定資産の取得による支出	△8,413,827		△4,418,437	
信託無形固定資産の取得による支出	—		△9,177	
預り敷金及び保証金の受入による収入	79,652		48,297	
預り敷金及び保証金の返還による支出	△61,506		△19,207	
信託預り敷金及び保証金の受入による収入	1,104,960		813,729	
信託預り敷金及び保証金の返還による支出	△211,240		△603,568	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,656,544		△5,398,154	
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入れによる収入	1,000,000		3,000,000	
長期借入れによる収入	28,900,000		23,550,000	
長期借入金の返済による支出	△20,900,000		△20,100,000	
投資法人債の発行による収入	—		6,966,400	
投資法人債の償還による支出	△2,000,000		△10,000,000	
分配金の支払額	△9,739,682		△10,003,275	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,739,682		△6,586,874	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,831,541		2,528,953	
現金及び現金同等物の期首残高	58,906,455		60,737,996	
現金及び現金同等物の期末残高	60,737,996		63,266,949	

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

<p>1. 固定資産の減価償却の方法</p>	<p>(1) 有形固定資産（信託財産を含む） 定額法を採用しています。 なお、有形固定資産の耐用年数は以下のとおりです。</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>2年～70年</td> </tr> <tr> <td>構築物</td> <td>2年～53年</td> </tr> <tr> <td>機械及び装置</td> <td>2年～31年</td> </tr> <tr> <td>工具、器具及び備品</td> <td>2年～20年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産（信託財産を含む） 定額法を採用しています。 なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいています。</p> <p>(3) 長期前払費用 定額法を採用しています。</p>	建物	2年～70年	構築物	2年～53年	機械及び装置	2年～31年	工具、器具及び備品	2年～20年
建物	2年～70年								
構築物	2年～53年								
機械及び装置	2年～31年								
工具、器具及び備品	2年～20年								
<p>2. 引当金の計上基準</p>	<p>貸倒引当金 債権の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。</p>								
<p>3. 繰延資産の処理方法</p>	<p>投資法人債発行費 投資法人債の償還までの期間にわたり定額法により償却しています。</p>								
<p>4. 収益及び費用の計上基準</p>	<p>(1) 収益に関する計上基準 本投資法人の顧客との契約から生じる収益に関する主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりです。</p> <p>①不動産等の売却 不動産等売却収入については、不動産売却に係る契約に定められた引渡義務を履行することにより、顧客である買主が当該不動産等の支配を獲得した時点で収益計上を行っています。</p> <p>②水道光熱費収入（附加使用料） 水道光熱費収入については、不動産等の賃貸借契約及び付随する合意内容に基づき、顧客である賃借人に対する電気、水道等の供給に応じて収益計上を行っています。 水道光熱費収入のうち、本投資法人が代理人に該当すると判断したものについては、他の当事者が供給する電気、ガス等の料金として收受する額から当該他の当事者に支払う額を控除した純額を収益として認識しています。</p> <p>(2) 固定資産税等の処理方法 保有する不動産にかかる固定資産税、都市計画税及び償却資産税等については、賦課決定された税額のうち当期に対応する額を賃貸事業費用として費用処理する方法を採用しています。 なお、不動産又は不動産を信託財産とする信託受益権の取得に伴い、本投資法人が負担すべき初年度の固定資産税等相当額については、費用に計上せず当該不動産等の取得原価に算入しています。当期において不動産等の取得原価に算入した固定資産税等相当額は6,086千円です。</p>								

5. ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっています。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>①ヘッジ手段 金利キャップ取引 金利スワップ取引</p> <p>②ヘッジ対象 借入金金利</p> <p>(3) ヘッジ方針 本投資法人は財務方針に基づき、規約に規定するリスクをヘッジする目的でデリバティブ取引を行っています。</p> <p>(4) ヘッジの有効性評価の方法 ヘッジ対象の相場変動の累計又はキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段の相場変動の累計又はキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、両者の変動額の比率を検証することにより、ヘッジの有効性を評価しています。 ただし、金利スワップの特例処理の要件を満たしているものについては、有効性の評価を省略しています。</p> <p>(「LIBORを参照する金融商品に関するヘッジ会計の取扱い」を適用しているヘッジ関係) 上記のヘッジ関係のうち、「LIBORを参照する金融商品に関するヘッジ会計の取扱い」(実務対応報告第40号 2022年3月17日)の適用範囲に含まれるヘッジ関係のすべてに、当該実務対応報告に定められる特例的な取扱いを適用しています。当該実務対応報告を適用しているヘッジ関係の内容は以下のとおりです。</p> <p>ヘッジ会計の方法 : 金利スワップの特例処理 ヘッジ手段 : 金利スワップ取引 ヘッジ対象 : 借入金金利 ヘッジ取引の種類 : キャッシュ・フローを固定するもの</p>
6. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	<p>キャッシュ・フロー計算書における資金(現金及び現金同等物)は、手許現金及び信託現金、随時引き出し可能な預金及び信託預金並びに容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっています。</p>
7. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>(1) 不動産等を信託財産とする信託受益権に関する会計処理方法 保有する不動産等を信託財産とする信託受益権については、信託財産内の全ての資産及び負債勘定並びに信託財産に生じた全ての収益及び費用勘定について、貸借対照表及び損益計算書の該当勘定科目に計上しています。 なお、該当勘定科目に計上した信託財産のうち重要性がある下記の科目については、貸借対照表において区分掲記しています。</p> <p>①信託現金及び信託預金 ②信託建物、信託構築物、信託機械及び装置、信託工具、器具及び備品、信託土地、信託建設仮勘定 ③信託借地権、信託その他無形固定資産 ④信託差入敷金及び保証金 ⑤信託前受金 ⑥信託預り金 ⑦信託預り敷金及び保証金</p> <p>(2) 控除対象外消費税等の処理方法 固定資産等に係る控除対象外消費税は個々の資産の取得原価に算入しています。</p>

(8) 財務諸表に関する注記事項

〔重要な会計上の見積りに関する注記〕

固定資産の減損

1. 財務諸表に計上した金額

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
減損損失	—	—
有形固定資産	649,306,691	651,457,991
無形固定資産	9,428,316	9,430,092

2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

前期 (2023年5月31日)

本投資法人は、固定資産の減損に係る会計基準に従い、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった場合、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額する会計処理を適用しています。

会計処理の適用にあたっては、本投資法人が保有する各物件を一つの資産グループとし、営業損益又はキャッシュ・フローが継続してマイナス、使用範囲又は方法について回収可能価額を著しく低下させる変化、経営環境の著しい悪化及び市場価格の著しい下落等によって減損の兆候があると認められる場合に減損損失の認識の要否を判定します。

減損損失を認識するかどうかの検討には将来キャッシュ・フローの見積金額を用い、減損損失の認識が必要と判断された場合には、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上します。

将来キャッシュ・フローの見積りにあたっては、その前提となる賃料、賃貸事業費用、割引率等について、不動産鑑定評価において設定されている数値等の外部専門家の情報を参考に、市場の動向、類似不動産の取引事例等を総合的に勘案の上決定します。

各物件の業績や市場価格は、不動産賃貸市場や不動産売買市場の動向の影響を受ける可能性があります。そのため、見積りの前提に変更が生じた場合には、翌期の本投資法人の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

当期 (2023年11月30日)

本投資法人は、固定資産の減損に係る会計基準に従い、収益性の低下により投資額の回収が見込めなくなった場合、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額する会計処理を適用しています。

会計処理の適用にあたっては、本投資法人が保有する各物件を一つの資産グループとし、営業損益又はキャッシュ・フローが継続してマイナス、使用範囲又は方法について回収可能価額を著しく低下させる変化、経営環境の著しい悪化及び市場価格の著しい下落等によって減損の兆候があると認められる場合に減損損失の認識の要否を判定します。

減損損失を認識するかどうかの検討には将来キャッシュ・フローの見積金額を用い、減損損失の認識が必要と判断された場合には、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上します。

将来キャッシュ・フローの見積りにあたっては、その前提となる賃料、賃貸事業費用、割引率等について、不動産鑑定評価において設定されている数値等の外部専門家の情報を参考に、市場の動向、類似不動産の取引事例等を総合的に勘案の上決定します。

各物件の業績や市場価格は、不動産賃貸市場や不動産売買市場の動向の影響を受ける可能性があります。そのため、見積りの前提に変更が生じた場合には、翌期の本投資法人の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

〔貸借対照表に関する注記〕

- ※1. 担保に供している資産及び担保を付している債務
担保に供している資産は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
建 物	1,233,968	1,193,634
構築物	5,606	5,404
土 地	2,089,982	2,089,982
合 計	3,329,557	3,289,021

担保を付している債務は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
預り敷金及び保証金	408,171	408,171
合 計	408,171	408,171

2. コミットメントライン契約

本投資法人は、取引銀行とコミットメントライン契約を締結しています。

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
コミットメントライン契約の総額	36,000,000	36,000,000
借入残高	—	—
差 引	36,000,000	36,000,000

- ※3. 国庫補助金により取得した有形固定資産の圧縮記帳額

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
信託建物	39,608	39,608

- ※4. 自己投資口の消却の状況

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
総消却口数	19,746口	19,746口
消却総額	2,999,918千円	2,999,918千円

(注) 当期中の自己投資口の消却はありません。

- ※5. 一時差異等調整積立金の積立て及び取崩しの処理に関する事項

前期(2023年5月31日)

(単位：千円)

	当初発生額	当期首残高	当期積立額	当期取崩額	当期末残高	積立て、取崩し の発生事由
負ののれん 発生益(注1)	7,546,388	6,716,285	—	75,463	6,640,821	分配金に充当
減価償却費等 による利益超 過税会不一致 の一部(注2)	66,949	61,593	—	669	60,923	分配金に充当
	76,099	70,772	—	760	70,011	
	63,132	59,344	—	631	58,713	

当期 (2023年11月30日)

(単位：千円)

	当初発生額	当期首残高	当期積立額	当期取崩額	当期末残高	積立て、取崩しの発生事由
負ののれん 発生益 (注1)	7,546,388	6,640,821	—	75,463	6,565,357	分配金に充当
減価償却費等 による利益超 過税会不一致 の一部 (注2)	66,949	60,923	—	669	60,254	分配金に充当
	76,099	70,011	—	760	69,250	
	63,132	58,713	—	631	58,081	

(注1) 過年度に計上した負ののれん発生益に細分された金額の残額であり、2017年5月期以降、当初発生額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額を毎期取り崩す予定です。

(注2) 減価償却費等による利益超過税会不一致の一部であり、積立てを行った期の翌期以降、当初発生額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額を毎期取り崩す予定です。

※6. 投資信託及び投資法人に関する法律第67条第4項に定める最低純資産額

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
	50,000	50,000

[損益計算書に関する注記]

※1. 不動産事業損益の内訳

(単位：千円)

	前期 自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	当期 自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日
A. 不動産賃貸事業収益		
賃貸事業収入		
賃料収入	20,493,491	20,806,415
共益費収入	1,388,156	1,381,887
駐車場収入	770,051	773,907
その他賃貸収入 (注1)	166,870	170,335
	22,818,571	23,132,546
その他賃貸事業収入		
附加使用料 (注2)	1,605,287	1,696,640
賃貸事業一時収入	532,405	117,269
その他雑収入	96,254	96,098
	2,233,947	1,910,008
不動産賃貸事業収益合計	25,052,518	25,042,544
B. 不動産賃貸事業費用		
賃貸事業費用		
公租公課	2,126,537	2,235,386
外注委託費	1,834,831	1,855,044
水道光熱費	1,919,501	1,788,984
損害保険料	37,814	38,273
修繕費 (注3)	1,322,963	1,063,644
減価償却費	4,067,539	4,069,018
その他賃貸事業費用	469,189	456,765
不動産賃貸事業費用合計	11,778,376	11,507,116
C. 不動産賃貸事業損益 (A - B)	13,274,141	13,535,438

(注1) 賃料収入、共益費収入及び駐車場収入以外の定額の収益を記載しています。

(注2) 使用料に応じてテナントから受け取る水道光熱費等を記載しています。

(注3) 修繕費及び修繕積立金を記載しています。

※2. 不動産等売却益の内訳

前期（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

該当事項はありません。

当期（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

グランルージュ栄		(単位：千円)
不動産等売却収入	1,450,000	
不動産等売却原価	1,121,429	
その他売却費用	14,341	
不動産等売却益	314,229	

[投資主資本等変動計算書に関する注記]

※. 発行可能投資口総口数及び発行済投資口の総口数

	前期	当期
	自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日
発行可能投資口総口数	10,000,000口	10,000,000口
発行済投資口の総口数	3,098,591口	3,098,591口

[金銭の分配に係る計算書に関する注記]

※. 一時差異等調整積立金

前期 (2023年5月31日)

本投資法人の、一時差異等調整積立金に係る内容は以下のとおりです。

積立て、取崩しの発生事由等	積立額、取崩額	取崩の具体的な方法
2016年11月期の金銭の分配に係る計算書において、過年度に計上した負ののれん発生益に細分された金額の残額である配当積立金を一時差異等調整積立金へ積立てており、制度上必要とされる額を取崩しました。	(当初積立額：7,546,388,071円) 当期取崩額：75,463,881円	積立てを行った期の翌期である2017年5月期以降、当初積立額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額(75,463,881円以上)を当該積立金が残存する限り、毎期取崩し、分配金に充当します。
金銭の分配に係る計算書において、減価償却費等による利益超過税会不一致の一部を一時差異等調整積立金へ積立てており、制度上必要とされる額を取崩しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年5月期 (当初積立額：66,949,209円) 当期取崩額：669,493円 ・ 2018年11月期 (当初積立額：76,099,699円) 当期取崩額：760,997円 ・ 2019年5月期 (当初積立額：63,132,400円) 当期取崩額：631,324円 	積立てを行った期の翌期以降、それぞれの当初積立額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額を当該積立金が残存する限り、毎期取崩し、分配金に充当します。

当期 (2023年11月30日)

本投資法人の、一時差異等調整積立金に係る内容は以下のとおりです。

積立て、取崩しの発生事由等	積立額、取崩額	取崩の具体的な方法
2016年11月期の金銭の分配に係る計算書において、過年度に計上した負ののれん発生益に細分された金額の残額である配当積立金を一時差異等調整積立金へ積立てており、制度上必要とされる額を取崩しました。	(当初積立額：7,546,388,071円) 当期取崩額：75,463,881円	積立てを行った期の翌期である2017年5月期以降、当初積立額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額(75,463,881円以上)を当該積立金が残存する限り、毎期取崩し、分配金に充当します。
金銭の分配に係る計算書において、減価償却費等による利益超過税会不一致の一部を一時差異等調整積立金へ積立てており、制度上必要とされる額を取崩しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2018年5月期 (当初積立額：66,949,209円) 当期取崩額：669,493円 ・ 2018年11月期 (当初積立額：76,099,699円) 当期取崩額：760,997円 ・ 2019年5月期 (当初積立額：63,132,400円) 当期取崩額：631,324円 	積立てを行った期の翌期以降、それぞれの当初積立額の50年均等額にあたる1%相当以上の金額を当該積立金が残存する限り、毎期取崩し、分配金に充当します。

[税効果会計に関する注記]

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

(単位：千円)

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
繰延税金資産		
税務上の収益認識差額	23,980	37,416
合併時受入評価差額	15,563,658	15,543,976
貸倒引当金繰入超過額	1,970	282
減損損失	328,442	328,442
その他	236	226
小計	15,918,288	15,910,345
評価性引当額	△15,918,288	△15,910,345
合計	—	—
繰延税金資産の純額	—	—

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前期 2023年5月31日	当期 2023年11月30日
法定実効税率	31.46%	31.46%
(調整)		
支払分配金の損金算入額	△31.23%	△31.38%
評価性引当額の増減	△0.23%	△0.08%
その他	0.01%	0.01%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	0.01%	0.01%

〔賃貸等不動産に関する注記〕

本投資法人は、首都圏並びに政令指定都市をはじめとする日本全国の主要都市及びそれぞれの周辺部において、賃貸用の不動産等を保有しています。これら賃貸等不動産に係る貸借対照表計上額、期中増減額及び期末時価は以下のとおりです。

(単位：千円)

用途		前期	当期
		自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日
商業施設	貸借対照表計上額		
	期首残高	187,796,463	187,895,408
	期中増減額	98,945	1,987,554
	期末残高	187,895,408	189,882,963
	期末時価	217,099,000	219,339,000
オフィスビル	貸借対照表計上額		
	期首残高	192,530,086	194,559,093
	期中増減額	2,029,006	△727,095
	期末残高	194,559,093	193,831,997
	期末時価	260,380,000	248,374,000
ホテル	貸借対照表計上額		
	期首残高	158,961,094	158,879,474
	期中増減額	△81,619	2,031,900
	期末残高	158,879,474	160,911,374
	期末時価	184,046,000	188,417,000
住居	貸借対照表計上額		
	期首残高	46,121,214	47,686,906
	期中増減額	1,565,692	△1,347,941
	期末残高	47,686,906	46,338,965
	期末時価	69,260,000	68,121,000
その他	貸借対照表計上額		
	期首残高	67,431,683	69,606,515
	期中増減額	2,174,832	206,882
	期末残高	69,606,515	69,813,398
	期末時価	94,680,000	95,290,000
合計	貸借対照表計上額		
	期首残高	652,840,542	658,627,399
	期中増減額	5,786,856	2,151,300
	期末残高	658,627,399	660,778,699
	期末時価	825,465,000	819,541,000

(注1) 貸借対照表計上額は、取得原価（取得に伴う付帯費用を含みます。）から減価償却累計額を控除した金額です。

(注2) 期中増減額のうち、前期の主な増加額は新規3物件の取得（合計5,897百万円）、既保有物件の建物部分の追加取得（1,244百万円）及び資本的支出（2,443百万円）によるものであり、主な減少額は減価償却費（4,059百万円）によるものです。当期の主な増加額は新規2物件の取得（合計4,648百万円）及び資本的支出（3,233百万円）によるものであり、主な減少額は1物件の譲渡（1,121百万円）及び減価償却費（4,061百万円）によるものです。

(注3) 期末時価は、本投資法人の規約に定める資産評価の方法及び基準並びに一般社団法人投資信託協会の定める規則に基づき、不動産鑑定士による鑑定評価額又は調査評価額を記載しています。

なお、賃貸等不動産に関する損益については、〔損益計算書に関する注記〕をご参照ください。

〔収益認識に関する注記〕

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前期（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

（単位：千円）

	顧客との契約から生じる収益 (注1)	外部顧客への売上高
不動産等売却収入	—	—
水道光熱費収入 (注3)	1,605,287	1,605,287
その他	—	23,447,230
合 計	1,605,287	25,052,518

当期（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

（単位：千円）

	顧客との契約から生じる収益 (注1)	外部顧客への売上高
不動産等売却収入	1,450,000	314,229 (注2)
水道光熱費収入 (注3)	1,696,640	1,696,640
その他	—	23,345,914
合 計	3,146,640	25,356,784

(注1) 企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の対象となる賃貸事業収入等及び日本公認会計士協会会計制度委員会報告第15号「特別目的会社を活用した不動産の流動化に係る譲渡人の会計処理に関する実務指針」の対象となる不動産等の譲渡は収益認識会計基準の適用外となるため、上記金額には含めていません。なお、主な顧客との契約から生じる収益は不動産等売却収入及び水道光熱費収入です。

(注2) 不動産等売却収入については、損益計算書において不動産等売却損益（不動産等売却収入より不動産等売却原価及びその他売却費用を控除した額）として計上します。本投資法人においては、不動産等売却益を営業収益に、不動産等売却損を営業費用に計上しているため、上表には不動産等売却益の額のみを記載しています。

(注3) 水道光熱費収入については、不動産等の賃貸借契約及び付随する合意内容に基づき、顧客である賃借人に対する電気、水道等の供給に応じて収益計上した額を記載しています。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

前期（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）及び当期（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）において、
(7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記に記載のとおりです。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当計算期間末において 存在する顧客との契約から翌計算期間以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報
前期（自 2022年12月1日 至 2023年5月31日）

(1) 契約資産及び契約負債の残高等

（単位：千円）

顧客との契約から生じた債権（期首残高）	317,711
顧客との契約から生じた債権（期末残高）	315,789
契約資産（期首残高）	—
契約資産（期末残高）	—
契約負債（期首残高）	—
契約負債（期末残高）	—

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

該当事項はありません。

なお、水道光熱費収入については、期末までに履行が完了した部分に対する顧客である賃借人にとっての価値に直接対応する対価の額を顧客から受け取る権利を有していることから、収益認識に関する会計基準の適用指針第19項に従って、請求する権利を有している金額で収益を認識しています。従って、収益認識に関する会計基準第80-22項 (2) の定めを適用し残存履行義務に配分した取引価格の注記には含めていません。

当期（自 2023年6月1日 至 2023年11月30日）

(1) 契約資産及び契約負債の残高等

(単位：千円)

顧客との契約から生じた債権（期首残高）	315,789
顧客との契約から生じた債権（期末残高）	302,340
契約資産（期首残高）	—
契約資産（期末残高）	—
契約負債（期首残高）	—
契約負債（期末残高）	—

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

該当事項はありません。

なお、水道光熱費収入については、期末までに履行が完了した部分に対する顧客である賃借人にとっての価値に直接対応する対価の額を顧客から受け取る権利を有していることから、収益認識に関する会計基準の適用指針第19項に従って、請求する権利を有している金額で収益を認識しています。従って、収益認識に関する会計基準第80-22項（2）の定めを適用し残存履行義務に配分した取引価格の注記には含めていません。

[1口当たり情報に関する注記]

	前期	当期
	自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日
1口当たり純資産額	116,336円	116,440円
1口当たり当期純利益	3,204円	3,346円

(注1) 1口当たり当期純利益は、当期純利益を日数加重平均口数で除することにより算出しています。なお、潜在投資口調整後1口当たり当期純利益については、潜在投資口がないため記載していません。

(注2) 1口当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

		前期	当期
		自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日
当期純利益	(千円)	9,929,741	10,369,952
普通投資主に帰属しない金額	(千円)	—	—
普通投資口に係る当期純利益	(千円)	9,929,741	10,369,952
期中平均投資口数	(口)	3,098,591	3,098,591

[重要な後発事象に関する注記]

該当事項はありません。

[開示の省略]

キャッシュ・フロー計算書、リース取引、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、持分法損益等、関連当事者との取引、セグメント情報等及び資産除去債務に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。

(9) 発行済投資口の総口数の増減

当期において増資等は行っておらず、発行済投資口の総口数及び出資総額の異動はありません。なお、当期末までの最近5年間における発行済投資口の総口数及び出資総額の増減は、以下のとおりです。

年月日	摘要	発行済投資口の総口数(口)		出資総額(百万円)		備考
		増減	残高	増減	残高	
2019年 6月19日	公募増資	55,000	3,110,087	9,363	318,568	(注1)
2019年 7月11日	第三者割当増資	8,250	3,118,337	1,404	319,973	(注2)
2022年10月28日	消却	△19,746	3,098,591	—	319,973	(注3)

(注1) 1口当たり175,616円(引受価額170,240円)にて、新規物件の取得資金に充当することを目的として公募により新投資口を発行しました。

(注2) 1口当たり170,240円にて、物件取得に伴い減少した手元資金への充当を目的として第三者割当により新投資口を発行しました。

(注3) 2022年9月16日から2022年9月30日にかけて、自己投資口取得に係る証券会社との取引一任契約に基づく東京証券取引所における市場買付けにより、自己投資口の取得を行いました。取得した自己投資口(19,746口)については、2022年10月20日に開催された本投資法人役員会における決議に基づき、そのすべてを2022年10月28日に消却しました。なお、自己投資口取得に係る取得資金については出資剰余金から控除した結果、出資総額に変更はありません。

3. 参考情報

(1) 運用資産等の価格に関する情報

① 本投資法人の資産の構成

資産の種類	用途	地域		第39期 2023年5月31日		第40期 2023年11月30日	
				保有総額 (千円) (注1)	対総資産 比率(%)	保有総額 (千円) (注1)	対総資産 比率(%)
不動産	商業施設	首都圏 (注2)	東京都心6区 (注3)	—	—	—	—
			東京23区 (注4)	—	—	—	—
			首都圏地域 (注5)	7,209,102	1.0	7,198,823	1.0
		地方 (注6)	13,284,617	1.8	13,228,938	1.8	
	オフィスビル	首都圏	東京都心6区	22,833,648	3.2	22,759,845	3.1
			東京23区	9,281,845	1.3	9,236,885	1.3
			首都圏地域	8,711,619	1.2	8,686,413	1.2
		地方	—	—	—	—	
	ホテル	首都圏	東京都心6区	1,558,486	0.2	1,551,888	0.2
			東京23区	—	—	—	—
			首都圏地域	3,620,946	0.5	3,598,145	0.5
		地方	—	—	2,416,616	0.3	
	住居	首都圏	東京都心6区	—	—	—	—
			東京23区	4,727,904	0.7	4,721,954	0.6
			首都圏地域	1,678,406	0.2	1,678,482	0.2
		地方	3,558,917	0.5	3,536,743	0.5	
	その他	首都圏	東京都心6区	—	—	—	—
			東京23区	—	—	—	—
			首都圏地域	6,934,188	1.0	6,934,188	1.0
地方		1,645,551	0.2	1,635,524	0.2		
小計				85,045,233	11.8	87,184,451	12.0
信託不動産	商業施設	首都圏	東京都心6区	4,209,177	0.6	4,202,298	0.6
			東京23区	11,395,244	1.6	11,348,930	1.6
			首都圏地域	95,668,528	13.2	97,486,035	13.4
		地方	56,128,737	7.8	56,417,936	7.8	
	オフィスビル	首都圏	東京都心6区	65,236,510	9.0	65,050,100	8.9
			東京23区	1,955,635	0.3	1,943,855	0.3
			首都圏地域	38,440,664	5.3	38,078,536	5.2
		地方	48,099,168	6.7	48,076,359	6.6	
	ホテル	首都圏	東京都心6区	39,886,006	5.5	39,688,988	5.5
			東京23区	—	—	—	—
			首都圏地域	22,907,876	3.2	22,776,819	3.1
		地方	90,906,158	12.6	90,878,915	12.5	
	住居	首都圏	東京都心6区	2,287,021	0.3	2,278,468	0.3
			東京23区	9,647,962	1.3	9,652,142	1.3
			首都圏地域	2,776,886	0.4	2,761,534	0.4
		地方	23,009,807	3.2	21,709,639	3.0	
	その他	首都圏	東京都心6区	3,220,500	0.4	3,609,918	0.5
			東京23区	7,869,838	1.1	7,854,528	1.1
			首都圏地域	37,944,720	5.2	37,858,966	5.2
地方		11,991,717	1.7	11,920,272	1.6		
小計				573,582,165	79.3	573,594,247	78.9
預金等のその他資産				64,575,045	8.9	66,449,072	9.1
資産総額計				723,202,444	100.0	727,227,771	100.0

(注1) 「保有総額」は、各決算日時点における貸借対照表計上額（不動産及び信託不動産については、減価償却後の帳簿価額）によっています。なお、不動産を主な信託財産とする信託受益権には信託財産内の預金は含まれていません。

(注2) 「首都圏」とは、1都7県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、群馬県、栃木県及び山梨県）を指します。

(注3) 「東京都心6区」とは、千代田区、港区、中央区、新宿区、渋谷区及び品川区を指します。

(注4) 「東京23区」とは、東京都内23区から東京都心6区を除いた地域を指します。

(注5) 「首都圏地域」とは、首都圏から東京都内23区を除いた地域を指します。

(注6) 「地方」とは、政令指定都市（首都圏所在のものを除きます。）をはじめとする日本全国の主要都市（周辺部を含みます。）を指します。

	前期 2023年5月31日		当期 2023年11月30日	
	金額（千円）	対総資産比率（%）	金額（千円）	対総資産比率（%）
負債総額	362,722,249	50.2	366,427,435	50.4
純資産総額	360,480,195	49.8	360,800,336	49.6
資産総額	723,202,444	100.0	727,227,771	100.0

② 投資資産

a. 投資有価証券の主要銘柄

該当事項はありません。

b. 投資不動産物件

当期末時点において、本投資法人は不動産のほか、不動産信託受益権（かかる不動産信託受益権の信託財産である不動産を以下「信託不動産」といい、不動産と信託不動産を併せて「投資不動産」といいます。）を保有しています。このため、参照の便宜上、不動産と信託不動産を一括して記載しています。

(i) 投資不動産の概要1

投資不動産の取得価格、期末帳簿価額、期末評価額、鑑定評価機関、テナント数、賃貸可能面積、賃貸契約面積及び稼働率は以下のとおりです。

(2023年11月30日時点)

物件番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
A2	ジョイパーク泉ヶ丘	6,770	4,869	4,150	0.5	不動産研	28	12,977.80	12,977.80	100.0
A4	Luz船橋	5,200	3,996	6,350	0.8	不動産研	16	12,955.48	12,955.48	100.0
A6	天神ルーチェ	6,500	6,215	6,880	0.8	日土地	12	4,256.57	3,908.44	91.8
A7	テックランド堺本店	3,210	2,621	3,930	0.5	不動産研	1	8,637.63	8,637.63	100.0
A8	宮前ショッピングセンター	5,312	4,682	5,270	0.6	不動産研	2	10,487.92	10,030.32	95.6
A9	コナミススポーツクラブ 香里ヶ丘	2,040	1,318	2,020	0.2	不動産研	1	8,627.58	8,627.58	100.0
A10	アクティオーレ南池袋	3,760	3,525	3,460	0.4	不動産研	10	2,081.50	2,081.50	100.0
A11	Tip's 町田ビル	4,100	4,156	5,260	0.6	不動産研	10	6,616.32	6,616.32	100.0
A12	ダイエー宝塚中山店	4,284	2,941 (注9)	3,950	0.5	不動産研	1	16,729.60	16,729.60	100.0
A13	maricom-ISOGO・システム プラザ横浜（敷地）	11,904	12,456	11,500	1.4	不動産研	4	52,668.38	52,668.38	100.0
A14	アクティオーレ関内	2,410	2,187	1,940	0.2	不動産研	6	1,938.56	1,214.48	62.6
A15	心齋橋OPA本館	22,800	21,739	25,000	3.1	不動産研	1	27,025.42	27,025.42	100.0
A19	アルポーレ神宮前	1,580	1,528	2,840	0.3	不動産研	2	776.91	776.91	100.0
A20	アルポーレ仙台	2,590	2,276	3,120	0.4	不動産研	7	3,182.13	2,638.33	82.9
A21	モラージュ柏	7,040	6,683	9,200	1.1	不動産研	91	41,749.24	41,242.13	98.8

物件 番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
A23	イトーヨーカドー尾張旭店	4,840	3,756	4,940	0.6	不動産研	1	54,606.34	54,606.34	100.0
A24	横浜狩場ショッピング センター	2,500	1,959	2,410	0.3	不動産研	1	11,345.09	11,345.09	100.0
A25	Luz自由が丘	5,090	4,630	5,910	0.7	不動産研	21	2,283.47	2,283.47	100.0
A26	アクティオーレ市川	3,350	2,629	4,170	0.5	不動産研	13	3,931.56	3,931.56	100.0
A27	横浜青葉ショッピング センター (敷地)	2,600	2,740	3,400	0.4	不動産研	1	9,193.00	9,193.00	100.0
A28	ヤマダ電機テックランド 青葉店 (敷地)	2,150	2,270	2,900	0.4	不動産研	1	7,650.63	7,650.63	100.0
A29	ヨドバシカメラマルチ メディア吉祥寺	28,000	25,828	35,300	4.3	不動産研	1	37,932.95	37,932.95	100.0
A30	家電住まいる館 YAMADA松戸本店	5,150	4,472	7,040	0.9	不動産研	1	17,561.23	17,561.23	100.0
A31	Luz福岡天神 (注14)	4,350	5,441	5,860	0.7	不動産研	6	7,973.34	7,846.65	98.4
A32	鳴海ショッピングセンター (敷地)	6,460	6,850	7,170	0.9	谷澤	3	60,419.26	60,419.26	100.0
A33	ブラッシングウェーブ 江の島	1,800	1,874	1,600	0.2	不動産研	7	2,885.94	1,792.31	62.1
A34	ライフ西九条店 (敷地)	1,760	1,842	2,090	0.3	谷澤	1	3,252.76	3,252.76	100.0
A35	ライフ玉造店 (敷地)	1,880	1,967	2,170	0.3	谷澤	1	2,391.44	2,391.44	100.0
A36	グランベル銀座ビル	2,621	2,673	2,750	0.3	不動産研	11	1,352.35	1,352.35	100.0
A37	UUR天神西通りビル	5,500	6,012	3,810	0.5	不動産研	3	1,053.10	1,053.10	100.0
A38	Luz湘南辻堂	3,938	4,229	4,690	0.6	谷澤	34	10,373.71	10,373.71	100.0
A39	アクティオーレ上野	3,000	3,193	2,720	0.3	谷澤	9	1,163.44	1,163.44	100.0
A40	くるる	9,285	9,939	8,990	1.1	谷澤	26	12,810.05	12,665.35	98.9
A41	ケーズデンキ名古屋北店	1,750	1,792	1,870	0.2	谷澤	1	4,733.74	4,733.74	100.0
A42	Luz武蔵小杉	12,151	12,196	11,700	1.4	谷澤	2	8,272.58	8,272.58	100.0
A43	LEVENおたかの森	3,800	3,827	3,850	0.5	谷澤	13	5,984.28	5,984.28	100.0
A44	ガリバー八王子みなみ野店	1,500	1,582	1,640	0.2	不動産研	1	8,278.27	8,278.27	100.0
A45	東松戸ショッピング センター	2,200	2,224	2,340	0.3	不動産研	5	4,320.36	4,320.36	100.0
B1	T&G浜松町ビル	2,257	2,069	2,920	0.4	谷澤	7	2,261.97	2,261.97	100.0
B3	福岡アーセオンビル	2,080	1,428	3,360	0.4	不動産研	7	4,934.40	4,934.40	100.0
B4	麴町センタープレイス	2,350	2,371	2,970	0.4	不動産研	18	2,578.09	2,578.09	100.0
B6	新大阪セントラルタワー	24,000	22,854	30,000	3.7	日土地	61	45,951.31	44,455.87	96.7
B7	川崎東芝ビル	19,200	17,936	18,500	2.3	谷澤	1	36,142.30	36,142.30	100.0
B8	UUR東陽町ビル	8,500	8,210	6,730	0.8	不動産研	1	7,571.20	7,571.20	100.0
B9	フォーシーズンビル	4,200	3,913	6,380	0.8	不動産研	1	5,000.54	5,000.54	100.0
B11	パシフィックマークス 新宿パークサイド	12,100	11,338	15,000	1.8	不動産研	20	10,947.34	10,947.34	100.0
B13	パシフィックマークス月島	6,080	5,633	7,140	0.9	不動産研	47	9,335.19	9,335.19	100.0
B14	パシフィックマークス 横浜イースト	7,050	6,183	8,040	1.0	谷澤	27	11,197.57	10,729.06	95.8
B17	赤坂氷川ビル	3,290	3,112	4,150	0.5	不動産研	1	3,438.20	3,438.20	100.0
B18	パシフィックマークス 渋谷公園通	2,570	2,396	3,470	0.4	不動産研	1	1,972.43	1,972.43	100.0

物件番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
B20	パシフィックマークス 赤坂見附	2,210	2,117	2,660	0.3	不動産研	8	1,675.13	1,675.13	100.0
B22	パシフィックマークス 新横浜	1,710	1,446	1,650	0.2	谷澤	11	3,031.76	3,031.76	100.0
B25	パシフィックマークス川崎	9,890	8,686	12,900	1.6	谷澤	42	7,395.48	7,395.48	100.0
B26	浜松町262ビル	6,840	6,212	8,130	1.0	不動産研	19	6,149.77	6,149.77	100.0
B27	リーラヒジリザカ	2,750	2,582	3,670	0.4	不動産研	12	4,255.02	4,202.26	98.8
B29	大塚HTビル	1,160	1,026	1,300	0.2	不動産研	7	1,774.56	1,774.56	100.0
B30	パシフィックマークス 新宿サウスゲート	2,460	2,428	4,050	0.5	不動産研	8	1,727.48	1,727.48	100.0
B31	パシフィックマークス 西梅田	6,860	6,508	8,250	1.0	谷澤	29	10,990.99	10,506.19	95.6
B32	パシフィックマークス 肥後橋	4,570	4,263	5,770	0.7	谷澤	27	7,622.04	7,622.04	100.0
B35	パシフィックマークス 札幌北一条	1,790	1,618	2,490	0.3	谷澤	10	4,671.41	4,671.41	100.0
B36	新札幌センタービル	987	807	860	0.1	谷澤	21	2,797.23	2,797.23	100.0
B37	アリーナタワー	9,500	7,257	12,600	1.5	谷澤	12	17,967.46	16,968.40	94.4
B38	湯島ファーストビル	2,100	1,943	3,180	0.4	不動産研	6	4,554.23	4,554.23	100.0
B39	道玄坂スクエア	2,300	2,199	3,270	0.4	不動産研	27	2,234.21	2,074.52	92.9
B40	グランスクエア新栄	1,480	1,175	1,980	0.2	不動産研	9	4,578.93	4,578.93	100.0
B41	グランスクエア名駅南	1,220	1,006	2,690	0.3	不動産研	13	4,003.05	4,003.05	100.0
B42	芝520ビル	2,100	2,091	3,930	0.5	不動産研	5	2,831.93	2,831.93	100.0
B43	広瀬通SEビル	3,600	2,820	5,720	0.7	不動産研	8	8,235.87	8,235.87	100.0
B44	SS30	18,200	19,065	22,900	2.8	不動産研	81	67,681.45	67,150.16	99.2
B45	LOOP-X・M	11,200	12,208	13,000	1.6	不動産研	113	21,589.27	20,166.05	93.4
B46	虎ノ門ヒルズ 森タワー	10,000	9,997	11,600	1.4	不動産研	1	3,273.51	3,273.51	100.0
B47	虎ノ門PFビル	3,435	3,462	4,680	0.6	不動産研	4	3,603.09	3,603.09	100.0
B48	UUR京橋イーストビル	7,280	7,523	8,160	1.0	谷澤	6	3,642.18	3,642.18	100.0
B49	飯田橋ブラーノ	5,950	6,149	7,210	0.9	不動産研	2	4,370.23	4,370.23	100.0
B50	大阪ペイタワー	2,637	2,774	2,760	0.3	不動産研	158	44,255.11	41,840.00	94.5
C1	新宿ワシントンホテル本館	21,140	21,464	27,200	3.3	不動産研	9	53,326.92	52,194.66	97.9
C2	東横イン品川駅高輪口	1,884	1,551	2,630	0.3	日土地	1	3,088.85	3,088.85	100.0
C3	MZビル	3,800	2,891	3,890	0.5	不動産研	9	6,660.20	6,660.20	100.0
C4	ホテルルートイン 横浜馬車道	4,720	3,598	4,960	0.6	日土地	4	7,139.44	7,139.44	100.0
C5	ホテルJALシティ那覇	7,666	6,716	10,700	1.3	日土地	2	13,701.80	13,701.80	100.0
C6	UUR四谷三丁目ビル	4,200	4,327	7,450	0.9	不動産研	1	7,854.86	7,404.72	94.3
C7	四谷213ビル	5,020	4,867	7,200	0.9	不動産研	4	7,544.42	7,544.42	100.0
C9	コンフォートイン 東京六本木	4,488	4,679	3,630	0.4	不動産研	3	3,708.47	3,708.47	100.0
C10	東横イン川崎駅前市役所通	2,655	2,549	3,240	0.4	大和	1	4,874.28	4,874.28	100.0
C11	東横イン広島平和大通	2,113	1,974	2,690	0.3	大和	1	4,357.75	4,357.75	100.0
C12	東横イン那覇国際通り 美栄橋駅	745	695	900	0.1	大和	1	1,529.47	1,529.47	100.0

物件 番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
C13	ロワジュールホテル &スパタワー那覇	20,000	19,655	22,100	2.7	不動産研	1	45,731.16	45,731.16	100.0
C14	ロイヤルパインズホテル 浦和	17,500	17,336	17,100	2.1	不動産研	10	31,129.86	31,129.86	100.0
C15	リーガロイヤルホテル小倉 ・あるあるCity	16,600	17,774	15,900	1.9	谷澤	32	81,370.41	81,029.82	99.6
C16	コンフォートイン 福岡天神	3,000	3,009	3,450	0.4	不動産研	2	3,567.22	3,567.22	100.0
C17	変なホテル東京 浜松町	4,456	4,349	4,780	0.6	不動産研	1	2,293.64	2,293.64	100.0
C18	ホテルヒューイット甲子園	13,520	13,852	13,800	1.7	谷澤	2	36,104.06	36,104.06	100.0
C19	スマイルホテルプレミアム 札幌すすきの	4,233	4,083	5,250	0.6	谷澤	1	8,332.04	8,332.04	100.0
C20	ザ・スクエアホテル金沢	4,802	4,806	5,950	0.7	谷澤	1	6,333.36	6,333.36	100.0
C21	リーガブレイス 京都四条烏丸 (注15)	2,010	2,063	2,570	0.3	谷澤	1	2,358.25	2,358.25	100.0
C22	博多祇園開発用地	2,300	2,416	2,480	0.3	不動産研	(注10)	(注10)	(注10)	(注10)
D1	T&G東池袋マンション	2,021	1,352	2,840	0.3	谷澤	124	2,665.59	2,544.51	95.5
D4	駒沢コート	1,680	1,433	2,520	0.3	不動産研	1	3,741.17	3,741.17	100.0
D6	UURコート芝大門	1,175	936	1,710	0.2	谷澤	1	1,486.38	1,486.38	100.0
D9	アプリーレ新青木一番館	3,031	2,237	4,020	0.5	不動産研	1	12,700.44	12,700.44	100.0
D10	UURコート札幌北三条	1,278	875	1,760	0.2	谷澤	1	4,790.50	4,790.50	100.0
D15	クリオ文京小石川	3,170	2,461	4,090	0.5	不動産研	85	4,097.51	3,819.90	93.2
D17	グランルージュ栄Ⅱ	1,300	916	1,260	0.2	不動産研	1	2,579.89	2,579.89	100.0
D18	MA仙台ビル	3,440	2,208	4,780	0.6	不動産研	152	11,525.36	11,493.99	99.7
D19	UURコート名古屋名駅	1,473	1,043	1,720	0.2	日土地	1	2,958.45	2,958.45	100.0
D21	パークサイト泉	900	783	771	0.1	不動産研	37	2,067.95	1,931.15	93.4
D22	UURコート大阪十三本町	1,570	1,115	1,950	0.2	不動産研	1	3,650.00	3,650.00	100.0
D23	UURコート錦糸町	2,900	2,690	3,940	0.5	不動産研	199	5,460.39	5,397.15	98.8
D24	UURコート札幌南三条 プレミアタワー	2,050	1,626	3,560	0.4	不動産研	132	7,763.18	7,333.41	94.5
D25	グランルージュ中之島南	1,380	1,127	1,790	0.2	不動産研	114	3,090.36	2,992.82	96.8
D26	グレンパーク梅田北	5,150	4,808	7,410	0.9	谷澤	181	12,730.60	12,602.02	99.0
D27	UURコート志木	2,730	2,761	3,320	0.4	不動産研	2	9,288.00	9,288.00	100.0
D28	グランルージュ谷町六丁目	1,300	1,343	1,650	0.2	谷澤	51	2,792.81	2,792.81	100.0
D29	シャトレ大手町S棟・N棟	3,398	3,536	4,030	0.5	不動産研	142	12,040.28	11,154.04	92.6
D30	グランフォンテ	2,700	2,869	3,870	0.5	谷澤	91	6,268.24	6,268.24	100.0
D31	パークアクシス赤塚	1,980	2,031	2,400	0.3	谷澤	155	4,370.31	4,268.03	97.7
D32	UURコート白鷺	1,442	1,535	1,880	0.2	谷澤	45	2,815.30	2,695.50	95.7
D33	コートブランシェA P	1,270	1,341	1,540	0.2	谷澤	40	1,480.17	1,430.47	96.6
D34	UURコート茨木東中条	1,665	1,755	1,870	0.2	谷澤	55	3,783.25	3,653.17	96.6
D35	アムール横浜	1,570	1,678	1,580	0.2	不動産研	35	2,271.24	2,209.48	97.3
D36	グランルージュ城東	1,755	1,866	1,860	0.2	大和	71	3,304.90	3,215.39	97.3

物件番号	物件名	取得価格 (百万円) (注1)	期末 帳簿価額 (百万円)	期末 評価額 (百万円) (注2)	期末 評価額 の比率 (%)	鑑定 評価 機関 (注2)	テナ ント 数 (注3) (注4)	賃貸可能面積 (㎡) (注3)	賃貸契約面積 (㎡) (注3) (注5)	稼働率 (%) (注3)
E1	リリカラ東北支店	2,050	1,224	2,420	0.3	日土地	1	9,271.16	9,271.16	100.0
E2	府中ビル (注11)	2,863	1,938	1,910	0.2	不動研	1	5,479.15	5,479.15	100.0
E3	壺川スクエアビル	4,150	3,428	6,860	0.8	不動研	6	10,571.31	10,209.66	96.6
E4	ザ プレイス オブ トウキョウ	3,500	3,609	5,130	0.6	不動研	1	3,212.21	3,212.21	100.0
E5	ロジスティクス東扇島	9,525	9,199	12,400	1.5	不動研	2	42,113.83	42,113.83	100.0
E6	第1・第2MT有明センター ビル	8,000	7,854	15,800	1.9	不動研	1	23,856.74	23,856.74	100.0
E8	新習志野物流センター	2,555	2,606	3,330	0.4	不動研	1	12,909.90	12,909.90	100.0
E9	川越物流センター	7,550	7,334	10,700	1.3	谷澤	1	40,060.76	40,060.76	100.0
E11	新習志野物流センターII	2,590	2,712	3,010	0.4	不動研	1	12,598.46	12,598.46	100.0
E12	吉川物流センター	1,960	1,908	2,020	0.2	不動研	1	11,096.70	11,096.70	100.0
E13	武蔵村山物流センター	1,800	1,839	2,120	0.3	不動研	1	9,237.87	9,237.87	100.0
E14	千葉みなと物流センター (敷地)	6,600	6,934	8,550	1.0	谷澤	1	24,467.78	24,467.78	100.0
E15	枚方長尾物流センター	2,550	2,596	3,040	0.4	谷澤	1	11,874.51	11,874.51	100.0
E16	神戸遠矢浜物流センター	1,300	1,434	1,980	0.2	不動研	1	9,402.93	9,402.93	100.0
E17	レッドウッド成田ディス トリビューションセンター	2,345	2,396	2,610	0.3	谷澤	2	21,445.46	21,445.46	100.0
E18	加須物流センターI・II	3,259	3,323	3,610	0.4	谷澤	2	12,777.19	12,777.19	100.0
E19	神戸西神物流センター	1,923	2,008	2,150	0.3	谷澤	1	9,533.88	9,533.88	100.0
E20	グランダ宮の森 (注16)	1,423	1,635	1,670	0.2	谷澤	1	3,810.47	3,810.47	100.0
E21	KIC 狭山日高ディス トリビューションセンター	4,450	4,598	4,670	0.6	谷澤	1	15,113.07	15,113.07	100.0
E22	札幌米里物流センター	1,177	1,226	1,310	0.2	谷澤	1	7,389.49	7,389.49	100.0
合 計		691,831	660,778	819,541	100.0	—	3,019	1,633,673.46	1,616,687.84	99.0

(ii) 投資不動産の概要2

投資不動産の用途、年間賃料総額、預り敷金・保証金、地震リスク分析における予想最大損失率 (PML) 及び地震保険付保の有無は以下のとおりです。

(2023年11月30日時点)

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
A2	商業施設	ジョイパーク泉ヶ丘	362,935	281,364	10	有
A4	商業施設	Luz船橋	412,689	343,075	13	有
A6	商業施設	天神ルーチェ	393,048	352,678	2	有
A7	商業施設	テックランド堺本店	(注12)	(注12)	8	有
A8	商業施設	宮前ショッピングセンター	243,110	909,597	17	有
A9	商業施設	ユナミススポーツクラブ香里ヶ丘	(注12)	(注12)	11	有
A10	商業施設	アクティオーレ南池袋	151,045	138,440	14	有
A11	商業施設	Tip's町田ビル	292,286	229,845	18	有
A12	商業施設	ダイエー宝塚中山店	(注12)	(注12)	9	有
A13	商業施設/ オフィスビル	maricom-ISOGO・システムプラザ横浜 (敷地)	598,549	272,412	- (注13)	- (注13)

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
A14	商業施設	アクティオーレ関内	68,569	60,930	16	有
A15	商業施設	心齋橋OPA本館	1,362,000	1,448,304	12	有
A19	商業施設	アルポーレ神宮前	106,395	91,730	14.6	有
A20	商業施設	アルポーレ仙台	152,778	102,349	8	有
A21	商業施設	モラージュ柏	882,746	859,964	9	有
A23	商業施設	イトーヨーカドー尾張旭店	(注12)	(注12)	11	有
A24	商業施設	横浜狩場ショッピングセンター	(注12)	(注12)	12	有
A25	商業施設	Luz自由が丘	274,055	228,692	12	有
A26	商業施設	アクティオーレ市川	220,323	186,350	10	有
A27	商業施設	横浜青葉ショッピングセンター (敷地)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
A28	商業施設	ヤマダ電機テックランド青葉店 (敷地)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
A29	商業施設	ヨドバシカメラマルチメディア吉祥寺	(注12)	(注12)	14	有
A30	商業施設	家電住まいる館YAMADA松戸本店	(注12)	(注12)	11	有
A31	商業施設	Luz福岡天神 (注14)	415,784	256,752	1	有
A32	商業施設	鳴海ショッピングセンター (敷地)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
A33	商業施設	プラッシングウェーブ江の島	61,480	47,429	14	有
A34	商業施設	ライフ西九条店 (敷地)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
A35	商業施設	ライフ玉造店 (敷地)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
A36	商業施設	グランベル銀座ビル	151,470	134,373	10	有
A37	商業施設	UUR天神西通りビル	169,972	101,844	2	有
A38	商業施設	Luz湘南辻堂	470,629	326,702	14	有
A39	商業施設	アクティオーレ上野	126,810	92,461	12	有
A40	商業施設	くるる	426,112	352,414	7	有
A41	商業施設	ケーズデンキ名古屋北店	(注12)	(注12)	8	有
A42	商業施設	Luz武蔵小杉	503,524	1,007,049	11	有
A43	商業施設	LEVENおおたかの森	205,090	130,249	9	有
A44	商業施設	ガリバー八王子みなみ野店	(注12)	(注12)	12	有
A45	商業施設	東松戸ショッピングセンター	129,317	104,361	8	有
B1	オフィスビル	T&G浜松町ビル	141,626	124,581	12	有
B3	オフィスビル	福岡アーセオンビル	213,523	132,289	1	有
B4	オフィスビル	麴町センタープレイス	182,907	175,547	11	有
B6	オフィスビル /ホテル	新大阪セントラルタワー	1,772,128	1,528,826	7	有
B7	オフィスビル	川崎東芝ビル	1,665,139	1,580,916	7	有
B8	オフィスビル	UUR東陽町ビル	372,704	380,080	13	有
B9	オフィスビル	フォーシーズンズビル	313,776	261,128	11	有
B11	オフィスビル	パシフィックマークス新宿パークサイド	672,756	502,117	14.8	有
B13	オフィスビル	パシフィックマークス月島	443,750	228,992	14	有
B14	オフィスビル	パシフィックマークス横浜イースト	476,727	377,338	15	有

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
B17	オフィスビル	赤坂氷川ビル	216,228	244,216	14	有
B18	オフィスビル	パシフィックマークス渋谷公園通	168,000	100,500	12	有
B20	オフィスビル	パシフィックマークス赤坂見附	125,606	89,107	13	有
B22	オフィスビル	パシフィックマークス新横浜	123,653	91,790	16	有
B25	オフィスビル	パシフィックマークス川崎	631,297	511,140	17	有
B26	オフィスビル	浜松町262ビル	407,915	429,645	14	有
B27	オフィスビル	リーラヒジリザカ	224,078	158,804	12	有
B29	オフィスビル	大塚HTビル	96,109	83,372	13	有
B30	オフィスビル	パシフィックマークス新宿サウスゲート	182,415	194,476	12	有
B31	オフィスビル	パシフィックマークス西梅田	479,474	477,440	10	有
B32	オフィスビル	パシフィックマークス肥後橋	319,403	266,012	12	有
B35	オフィスビル	パシフィックマークス札幌北一条	235,867	212,703	1	有
B36	オフィスビル	新札幌センタービル	108,445	87,854	2	有
B37	オフィスビル	アリーナタワー	795,226	440,700	10	有
B38	オフィスビル	湯島ファーストビル	210,954	147,291	13	有
B39	オフィスビル	道玄坂スクエア	168,848	132,032	16	無
B40	オフィスビル	グランスクエア新栄	147,674	101,659	10	有
B41	オフィスビル	グランスクエア名駅南	160,599	132,043	10	有
B42	オフィスビル	芝520ビル	206,457	164,678	13	有
B43	オフィスビル	広瀬通SEビル	376,953	397,161	8	有
B44	オフィスビル /ホテル	SS30	1,974,691	1,387,573	2	有
B45	オフィスビル	LOOP-X・M	875,668	531,730	7	有
B46	オフィスビル	虎ノ門ヒルズ 森タワー	(注12)	(注12)	1	有
B47	オフィスビル	虎ノ門PFビル	226,211	230,091	10	有
B48	オフィスビル	UUR京橋イーストビル	314,524	262,259	9	有
B49	オフィスビル	飯田橋プラザ	403,106	204,838	4	有
B50	オフィスビル	大阪バイタワー	164,816	134,335	8	無
C1	ホテル	新宿ワシントンホテル本館	1,453,925	1,843,845	9	有
C2	ホテル	東横イン品川駅高輪口	114,000	70,000	17	有
C3	ホテル	MZビル	264,377	195,729	13	有
C4	ホテル	ホテルルートイン横浜馬車道	268,923	101,431	19	有
C5	ホテル	ホテルJALシティ那覇	(注12)	(注12)	5	有
C6	ホテル	UUR四谷三丁目ビル	316,624	129,757	14	有
C7	ホテル	四谷213ビル	350,916	246,257	13	有
C9	ホテル	コンフォートイン東京六本木	152,136	(注12)	12	有
C10	ホテル	東横イン川崎駅前市役所通	(注12)	(注12)	14.5	有
C11	ホテル	東横イン広島平和大通	(注12)	(注12)	7	有
C12	ホテル	東横イン那覇国際通り美栄橋駅	(注12)	(注12)	2	有
C13	ホテル	ロワジュールホテル&スパタワー那覇	(注12)	(注12)	7	有

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
C14	ホテル	ロイヤルパインズホテル浦和	(注12)	(注12)	10	有
C15	ホテル	リーガロイヤルホテル小倉・あるあるCity	1,246,691	1,503,180	1	有
C16	ホテル	コンフォートイン福岡天神	110,960	64,708	1	有
C17	ホテル	変なホテル東京 浜松町	(注12)	(注12)	14.8	有
C18	ホテル	ホテルヒューイット甲子園	(注12)	(注12)	9	有
C19	ホテル	スマイルホテルプレミアム札幌すすきの	(注12)	(注12)	1	有
C20	ホテル	ザ・スクエアホテル金沢	(注12)	(注12)	4	有
C21	ホテル	リーガブレイス京都四条烏丸 (注15)	(注12)	(注12)	8	有
C22	ホテル	博多祇園開発用地	(注10)	(注10)	- (注13)	- (注13)
D1	住居	T&G東池袋マンション	132,180	14,919	12	無
D4	住居	駒沢コート	106,920	35,640	11	無
D6	住居	UURコート芝大門	66,000	11,000	17	無
D9	住居	アプリーレ新青木一番館	(注12)	(注12)	8	無
D10	住居	UURコート札幌北三条	94,273	7,838	2	無
D15	住居	クリオ文京小石川	189,084	24,412	14.5	無
D17	住居	グランルージュ栄II	64,740	6,413	13	無
D18	住居	MA仙台ビル	282,763	17,580	11	無
D19	住居	UURコート名古屋名駅	88,095	7,381	16	無
D21	住居	パークサイト泉	54,804	8,877	12	無
D22	住居	UURコート大阪十三本町	100,854	9,454	16	無
D23	住居	UURコート錦糸町	223,214	36,628	14.8	無
D24	住居	UURコート札幌南三条プレミアタワー	175,733	56,905	1	無
D25	住居	グランルージュ中之島南	105,405	6,143	15	無
D26	住居	グレンパーク梅田北	370,536	36,620	15.5	無
D27	住居	UURコート志木	191,320	144,512	11	無
D28	住居	グランルージュ谷町六丁目	86,484	5,968	13	無
D29	住居	シャトレ大手町S棟・N棟	210,264	15,759	1	無
D30	住居	グランフォンテ	190,607	49,090	1	有
D31	住居	パークアクシス赤塚	99,463	22,353	12	無
D32	住居	UURコート白鷺	69,750	14,904	12	無
D33	住居	コートブランシェA P	67,836	16,773	13	無
D34	住居	UURコート茨木東中条	91,824	9,533	10	無
D35	住居	アムール横浜	71,076	6,994	12	無
D36	住居	グランルージュ城東	93,840	15,710	13	有
E1	その他	リリカラ東北支店	(注12)	(注12)	11	有
E2	その他	府中ビル (注11)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
E3	その他	壺川スクエアビル	424,218	318,092	8	有
E4	その他	ザ プレイス オブ トウキョウ	(注12)	(注12)	13	有

物件番号	用途	物件名	年間賃料総額 (千円) (注6)	預り敷金・保証金 (千円) (注7)	PML (%) (注8)	地震保険 付保 の有無
E5	その他	ロジスティクス東扇島	(注12)	(注12)	12	有
E6	その他	第1・第2MT有明センタービル	(注12)	(注12)	12	有
E8	その他	新習志野物流センター	(注12)	(注12)	10	有
E9	その他	川越物流センター	(注12)	(注12)	9	有
E11	その他	新習志野物流センターⅡ	(注12)	(注12)	9	有
E12	その他	吉川物流センター	(注12)	(注12)	8	有
E13	その他	武蔵村山物流センター	(注12)	(注12)	14	有
E14	その他	千葉みなと物流センター(敷地)	(注12)	(注12)	- (注13)	- (注13)
E15	その他	枚方長尾物流センター	(注12)	(注12)	8	有
E16	その他	神戸遠矢浜物流センター	(注12)	(注12)	7	有
E17	その他	レッドウッド成田 ディストリビューションセンター	(注12)	(注12)	7	有
E18	その他	加須物流センターⅠ・Ⅱ	(注12)	(注12)	8	有
E19	その他	神戸西神物流センター	(注12)	(注12)	6	有
E20	その他	グランダ宮の森(注16)	(注12)	(注12)	1	有
E21	その他	KIC狭山日高ディストリビューションセンター	(注12)	(注12)	7	有
E22	その他	札幌米里物流センター	(注12)	(注12)	1	有
合 計			44,523,895	33,916,541	5.78	

(注1) 「取得価格」は、当該不動産等の取得に要した諸費用(仲介手数料、公租公課等)を含まない金額(売買契約書等に記載された価格で、消費税等は含まれません。)について百万円未満を四捨五入して記載しています。

(注2) 「期末評価額」は、毎決算期末日を調査の時点とする鑑定評価額又は不動産鑑定士による鑑定評価と同様の手法を用いて行われる価格調査による価格です。

なお、「鑑定評価機関」は当該不動産等の取得時及び継続評価の際に当該不動産等の鑑定評価又は価格調査を行っている鑑定評価機関を記載しており、「不動研」は一般財団法人日本不動産研究所、「谷澤」は株式会社谷澤総合鑑定所、「日土地」は中央日土地ソリューションズ株式会社、「大和」は大和不動産鑑定株式会社を、それぞれ表します。

(注3) 「テナント数」、「賃貸可能面積」、「賃貸契約面積」及び「稼働率」は、2023年11月30日時点のデータに基づき記載しています。「賃貸可能面積」は個々の投資不動産の本投資法人の所有部分における賃貸が可能な面積の合計を意味し、「賃貸契約面積」は賃貸可能面積のうち、実際に賃貸借契約が締結され賃貸が行われている面積の合計を意味します(なお、「賃貸可能面積」及び「賃貸契約面積」の数値は、原則として各契約書、プロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書又は月次報告書の数値であり、各契約書記載の数値は、建物の延床面積相当の数値、登記簿記載の床面積相当の数値、専有面積相当の数値、施工床面積相当の数値又はプロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書若しくは月次報告書に記載されている数値等を根拠としています。)。なお、第三者との間で投資不動産を共有している共有物件については、本投資法人以外の者と共有している部分についても、当該部分全体の面積を用いて「賃貸可能面積」及び「賃貸契約面積」を算出しています。また、「稼働率」は「賃貸契約面積」÷「賃貸可能面積」の式で求めた百分率により表します。

(注4) 「テナント数」は、各物件において所有者である本投資法人又は各信託受託者との間で直接賃貸借契約等(貸室の一部又は全部が転貸を目的として一括して賃貸に供され、当該賃貸借契約(マスター・リース契約)における賃借人がエンドテナントに対し当該貸室の転貸を行う契約を含む。)を締結している賃借人を1テナントとして算出しています。ただし、マスター・リース契約における賃借人から受領する賃料が、当該賃借人がエンドテナントから受領する賃料と同額とされているいわゆるパス・スルー型の場合は、エンドテナント数を集計しています。また、1テナントが同一投資不動産において複数の貸室を賃借している場合は1テナントとして、複数物件にわたる場合は複数テナントとして算出しています。ただし、パス・スルー型の住宅物件については、賃貸戸数を記載しています。

(注5) 「賃貸契約面積」は、原則としてエンドテナントの賃貸契約面積を記載しています。ただし、マスター・リース契約のうち、パス・スルー型に該当しない契約の賃貸契約面積については、マスター・リース契約の面積又はプロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書若しくは月次報告書における面積を記載しています。

(注6) 「年間賃料総額」は、2023年11月30日時点で有効な契約上の月間賃料(貸室賃料及び共益費合計)を12倍して千円未満を切捨てて記載しています。なお、一定期間賃料が免除されているテナントについては、当該免除期間は考慮しておらず、また、期間に応じて賃料が段階的に増額される旨の定めがある場合には、2023年11月30日時点で適用される金額を用いています。「年間賃料総額」の算定には変動賃料は含まれておらず、そのため、本表記載の金額と、実際の年間賃料収入の総額とは必ずしも一致しません。また、2023年11月30日時点でテナントとの間で賃料増減額請求があった場合においても、上記「年間賃料総額」の算定にあたっては当該請求の内容は考慮せず、2023年11月30日時点で有効な契約上の月間賃料(貸室賃料及び共益費合計)を12倍して千円未満を切捨てた金額を記載しています。

(注7) 「預り敷金・保証金」は、2023年11月30日時点のデータに基づき記載しています。なお、「預り敷金・保証金」は、貸室部分、駐車場部分、倉庫部分、看板部分等の敷金を含み、千円未満を切捨てて記載しています。

(注8) 「PML」(地震リスク分析における予想最大損失率)は、清水建設株式会社作成の地震リスク評価報告書に基づいています。また、「PML」の合計欄は、ポートフォリオ全体のPMLを記載しています。なお、複数の建物で構成される物件に係るPMLについては、地震リスク評価報告書に物件全体としての数値の表示がある場合、当該数値を記載しています。

- (注9) 指定調査機関による本件土地に係る2007年1月の土壌環境調査報告書においては、ダイエー宝塚中山店に係る土地のほぼ全地点より鉛溶出量、砒素溶出量、ふっ素溶出量が指定基準を超過する濃度で確認されるものの、当該敷地内について直接的な健康被害の可能性はないと考えられる旨記載されています。本投資法人は、将来土壌改良の必要が生じる場合に備え前所有者において将来の土壌改良に係る必要コストとして追加信託した630百万円(以下「土壌改良積立金」といいます。)を、本物件を取得するにあたり信託受益権譲渡契約において承継しており、当該信託受益権の「期末帳簿価額」は、かかる追加信託の金額を反映しています。なお、土壌改良の必要性が当面の間限りなく低いと思われること、及び資金効率向上の観点に鑑み、信託受託者から土壌改良積立金の交付を受けています。
- (注10) 本投資法人は、ホテル開発プロジェクトの開発事業用地として、2023年7月31日付で本物件を取得しました。賃貸用不動産(建物部分)の竣工は2026年9月を予定しており、当期末時点において記載すべき事項はありません。ただし、本物件上には既存建物があり、本物件の売主から本投資法人が契約上の地位並びに権利及び義務を承継した一時使用土地賃貸借兼建物無償譲渡契約(以下「既存賃貸借兼無償譲渡契約」といいます。)に基づいて、既存建物所有者(借地人)が事業を行っており、本投資法人は借地人より借地料を受領しています。なお、本投資法人は、既存賃貸借兼無償譲渡契約における賃貸借期間満了日である2024年3月31日付で、既存建物の無償譲渡を受ける予定です。
- (注11) 府中ビルについては、2022年3月31日付で建物部分を譲渡しました。そのため、当期末時点において、本投資法人は本物件の土地部分のみを保有していることから、「取得価格」については本投資法人の当初取得時における土地価格を記載しています。なお、2024年1月31日付で土地部分の譲渡を予定しています。
- (注12) 賃貸借契約(予約賃貸借契約も含みます。)を締結したテナントより賃料収入等を開示することにつき同意を得られていないことから、やむを得ない事情により開示できない場合として、記載していません。
- (注13) 土地(敷地)のみを保有しているため、PMLに係る該当事項はありません。
- (注14) 2023年4月1日付で「天神ロフトビル」から「Luz福岡天神」に名称を変更しています。
- (注15) 2023年4月1日付で「ネストホテル京都四条烏丸」から「リーガプレイス京都四条烏丸」に名称を変更しています。
- (注16) 2023年5月31日付で「宮の森二条開発用地」から「グランダ宮の森」に名称を変更しています。

③ テナントに関する情報

賃貸契約面積における上位10位までのテナントは以下のとおりです。

(2023年11月30日時点)

No.	テナント名	物件名	賃貸契約面積 (㎡) (注1)	年間賃料総額 (千円) (注2)	賃貸借契約終了日
1	株式会社リーガロイヤルホテル小倉	・リーガロイヤルホテル小倉・あるあるCity	58,297.75	(注3)	2025年3月31日
2	株式会社イトーヨーカ堂	・イトーヨーカドー尾張旭店	54,606.34	(注3)	(注4)
3	SBSロジコム株式会社	・川越物流センター ・吉川物流センター	51,157.46	(注3)	・川越物流センター 2027年8月31日 ・吉川物流センター 2027年7月26日
4	藤田観光株式会社	・新宿ワシントンホテル本館	49,364.55	1,325,131	2034年1月31日他(注5)
5	ユニー株式会社	・鳴海ショッピングセンター(敷地)	46,362.44	(注3)	2044年11月19日他(注5)
6	株式会社ロワジュール・ホテルズ沖縄	・ロワジュールホテル&スパタワー那覇	45,731.16	(注3)	2026年3月31日
7	株式会社ヨドバシカメラ	・ヨドバシカメラ マルチメディア吉祥寺	37,932.95	(注3)	2037年5月31日
8	東芝デバイス &ストレージ株式会社	・川崎東芝ビル	36,142.30	1,665,139	2024年6月1日(注6)
9	ロテルド甲子園株式会社	・ホテルヒューイット甲子園	33,704.06	(注3)	2028年10月31日
10	株式会社ヤマダホールディングス	・テックランド堺本店 ・maricom-ISOGO・システムプラザ横浜(敷地) ・ヤマダ電機テックランド青葉店(敷地)	32,336.20	(注3)	・テックランド堺本店 2030年5月9日 ・maricom-ISOGO・システムプラザ横浜(敷地) 2030年11月30日他(注5) ・ヤマダ電機テックランド青葉店(敷地) 2040年5月31日

- (注1) 原則として、賃貸借契約書、プロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書又は月次報告書等に記載されている面積です。なお、各契約書に記載されている数値は、建物の延床面積相当の数値、登記簿記載の床面積相当の数値、専有面積相当の数値、施行床面積相当の数値又はプロパティ・マネジメント会社作成の管理運営報告書若しくは月次報告書に記載されている数値等を根拠としています。また、賃料保証がないマスター・リース契約の場合は、本投資法人又は信託受託者が締結しているテナントベースではなく、実際に建物等を賃借し使用しているエンドテナントベースで集計しています。
- (注2) 2023年11月30日時点で有効な契約上の月額賃料(貸室賃料及び共益費合計)を12倍して千円未満を切捨てて記載しています。なお、一定期間賃料が免除されているテナントについては、当該免除期間は考慮しておらず、また、期間に応じて賃料が段階的に増額される旨の定めがある場合には、2023年11月30日時点で適用される金額を用いています。「年間賃料総額」の算定には変動賃料は含まれておらず、そのため、本表記載の金額と、実際の年間賃料収入の総額とは必ずしも一致しません。また、2023年11月30日時点でテナントとの間で賃料増減額請求があった場合においても、上記「年間賃料総額」の算定にあたっては当該請求の内容は考慮せず、2023年11月30日時点で有効な契約上の年間賃料(貸室賃料及び共益費合計)を12倍して千円未満を切捨てた金額を記載しています。
- (注3) 賃貸借契約(予約賃貸借契約も含みます。)を締結したテナントより賃料収入等を開示することにつき同意を得られていないことから、

やむを得ない事情により開示できない場合として、記載していません。

- (注4) 2018年11月11日付で、イトーヨーカドー尾張旭店の賃貸借契約は更改期日が到来していますが、2023年11月30日時点において、テナントとの間では賃貸借契約更改手続きが未了であり、賃貸借契約終了日は確定していません。
- (注5) 複数の賃貸借契約を締結しているため、代表的な賃貸借契約の終了時期を記載しています。
- (注6) 本テナントより定期建物賃貸借契約を2024年6月1日付で解約する旨の通知を受領しています。

(2) 資本的支出の状況

① 資本的支出の予定

本投資法人が運用する投資不動産に関し、当期末時点で計画されている改修等に伴う資本的支出の予定額のうち、主要なものは以下のとおりです。なお、工事予定金額には会計上の費用に区分される部分が含まれていません。

不動産等の名称	所在地	目的	予定期間	工事予定金額(百万円)		
				総額	工事金額	既払総額
Luz福岡天神	福岡県福岡市	外構及びサイン工事	自 2023年10月 至 2024年 1月	100	100	—
新大阪セントラルタワー	大阪府大阪市	ホテル部分客用エレベーター更新工事(第1期)	自 2024年 1月 至 2024年11月	126	126	—
S S30	宮城県仙台市	空調設備更新工事	自 2023年 6月 至 2024年 5月	199	199	—
新宿ワシントンホテル本館	東京都新宿区	防災監視システム更新工事	自 2023年 5月 至 2024年 6月	118	118	—
ロワジュールホテル &スパタワー那覇	沖縄県那覇市	本館 厨房リニューアル工事(第2期)	自 2023年12月 至 2024年 5月	159	159	—
ロワジュールホテル &スパタワー那覇	沖縄県那覇市	本館 厨房リニューアル工事(第3期)	自 2024年 5月 至 2024年 7月	108	108	—
ホテルヒューイット甲子園	兵庫県西宮市	エレベーター更新工事	自 2023年10月 至 2024年 3月	108	108	—

② 期中に行った資本的支出

本投資法人が当期中に投資不動産に対して実施した資本的支出の額は以下のとおりです。当期における資本的支出は3,233百万円であり、当期費用に区分された修繕費1,063百万円と合わせ、4,296百万円の工事を実施しています。

不動産等の名称	所在地	目的	期間	工事金額 (百万円)
Luz福岡天神	福岡県福岡市	外溝及びサイン関連工事	自 2023年 4月 至 2023年11月	727
Luz福岡天神	福岡県福岡市	エレベーター及びエスカレーター 更新工事	自 2023年 4月 至 2023年11月	230
新大阪セントラルタワー	大阪府大阪市	受変電設備更新工事	自 2023年10月 至 2023年11月	98
S S30	宮城県仙台市	ホテル棟 地下1階リニューアル 工事	自 2023年 7月 至 2023年 7月	356
ロワジールホテル &スパタワー那覇	沖縄県那覇市	本館 厨房リニューアル工事 (第1期)	自 2023年 8月 至 2023年11月	131
リーガロイヤルホテル小倉 ・あるあるCity	福岡県北九州市	商業棟 非常用エレベーター 更新工事	自 2023年 8月 至 2023年 9月	38
リーガロイヤルホテル小倉 ・あるあるCity	福岡県北九州市	ホテル棟 客用エレベーター 更新工事	自 2023年 6月 至 2023年11月	62
リーガロイヤルホテル小倉 ・あるあるCity	福岡県北九州市	ホテル棟 客室空調設備機器 更新工事 (第4期)	自 2023年 1月 至 2023年 9月	35
ザ プレイス オブ トウキョウ	東京都港区	内装リニューアル及び空調機器 更新工事	自 2023年 6月 至 2023年11月	441
新習志野物流センターⅡ	千葉県習志野市	トイレ・屋外給排水管改修工事	自 2023年 9月 至 2023年11月	38
神戸遠矢浜物流センター	兵庫県神戸市	エレベーター更新工事	自 2023年 8月 至 2023年 9月	60
その他の資本的支出				1,012
合 計				3,233

③ 長期修繕計画のために積立てた金銭

本投資法人は、物件毎に策定している長期修繕計画に基づき、期中のキャッシュ・フローの中から、中長期的な将来の大規模修繕等の資金支払いに充当することを目的とした修繕積立金を、以下のとおり積立っています。

(単位：百万円)

営業期間	第36期 自 2021年 6月 1日 至 2021年11月30日	第37期 自 2021年12月 1日 至 2022年 5月31日	第38期 自 2022年 6月 1日 至 2022年11月30日	第39期 自 2022年12月 1日 至 2023年 5月31日	第40期 自 2023年 6月 1日 至 2023年11月30日
項目					
当期首積立金残高	1,681	1,703	1,839	1,836	1,898
当期積立額 (注)	21	183	0	68	0
当期積立金取崩額	-	47	3	7	5
次期繰越額	1,703	1,839	1,836	1,898	1,893

(注) 信託受益権の売買に伴い、従前の所有者が信託財産内において積立てた積立金の全部又は一部を承継した場合、当該承継額を当期積立額に含めて記載しています。